

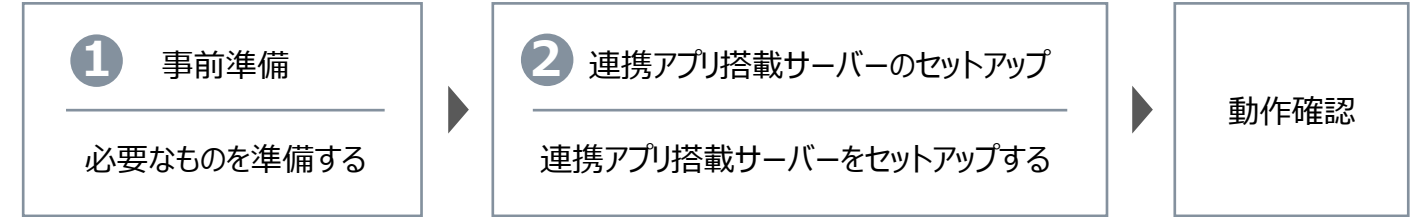
医療機関等向け
1.01版

連携アプリ搭載サーバーのセットアップ

本資料では、連携アプリ搭載サーバーセットアップ手順を説明します。

作業の流れ

連携アプリ搭載サーバーセットアップの作業の流れについて説明します。



注意

連携アプリ搭載サーバーは、セキュリティルーム等に設置していただく想定のため、顔認証付きカードリーダーアプリ等のセットアップは想定しておりません。顔認証による資格確認を行う際は、別途資格確認端末をご用意いただき、資格確認端末用のセットアップ手順書を参考にセットアップを行ってください。

事前準備

以下のものが揃っているか、確認してください。



● 連携アプリ搭載サーバー

連携アプリ搭載サーバーは、オンライン資格確認等システムを利用するために必要です。動作を確認している環境は、以下のとおりです。

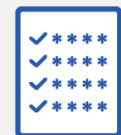
- Windows Server 2019
- Windows Server 2022
- ※Windows ServerのOSセットアップは完了しておいてください。

最新版のMicrosoft Edgeが必要です [▶▶ 別紙 トラブルシューティング 補1](#)



● 通信回線

通信回線は、オンライン資格確認等システムを利用するために必要です。連携アプリ搭載サーバーにIP-VPN又はIPsec+IKEにより接続して、オンライン資格確認等システムのサーバーとつなぐために使用します。



● マスタアカウントの通知書

マスタアカウントの通知書は、オンライン資格確認等システムを利用するアカウント作成のために必要です。



● 電子証明書、クライアントアプリケーションのインストーラー

電子証明書は、各医療機関等で用意してください。
インストーラー（連携アプリケーション_v4.1.0以降、配信アプリケーション_v2.1.0以降）は、医療機関等ベンダーより入手し、連携アプリ搭載サーバーのデスクトップ等にコピーしてください。
※インストーラーは改変しないでください。
連携アプリケーション、配信アプリケーションは、最新版を使用してください。

連携アプリ搭載サーバーのセットアップ

[▶▶](#) 参照先を記載しています。

以下の順で連携アプリ搭載サーバーの接続に必要なソフトウェアをインストールします（複数のサーバーを使用する場合は、台数分同じ作業を実施してください）。※本資料の最後にチェックシートがあります。インストール時のメモとしてご利用ください。

⚠本手順書どおりにセットアップを実施してください。異なる操作を実施した場合、正しく動作しない場合があります。

操作

1

WindowsServerにユーザアカウントを追加する

[▶▶ P.2](#)

操作

2

Windowsの設定を変更する（配信アプリケーション準備等）

[▶▶ P.5](#)

操作

3

連携アプリケーションをインストールする

[▶▶ P.9](#)

[▶▶ 連携アプリケーション導入手順書](#)

操作

4

認証局の電子証明書をインストールする

[▶▶ P.12](#)

[▶▶ オンライン請求ネットワーク関連システム 共通認証局ユーザーマニュアル](#)

操作

5

オンライン資格確認等システムに接続する

[▶▶ P.15](#)

操作

6

アカウントを作成する

[▶▶ P.18](#)

[▶▶ 管理者編 2章](#)

操作

7

文字コード、医療扶助、医療情報等の閲覧、電子処方箋管理サービス、電子カルテ情報共有サービス等の利用有無を設定する

[▶▶ P.19](#)

[▶▶ 管理者編 3章](#)

操作

8

配信アプリケーションをインストールする

[▶▶ P.19](#)

操作

9

資格確認できるか確認する

[▶▶ P.26](#)

1

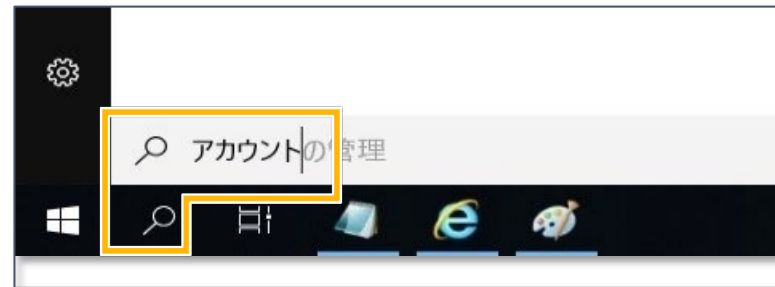
WindowsServerにユーザアカウントを追加する

オンライン資格確認等システムを利用するため、Windowsに以下のユーザ情報を登録します。

	ユーザ名	OqsComApp	※大文字小文字を識別します。 必ず左記のとおり指定してください
	パスワード	任意	

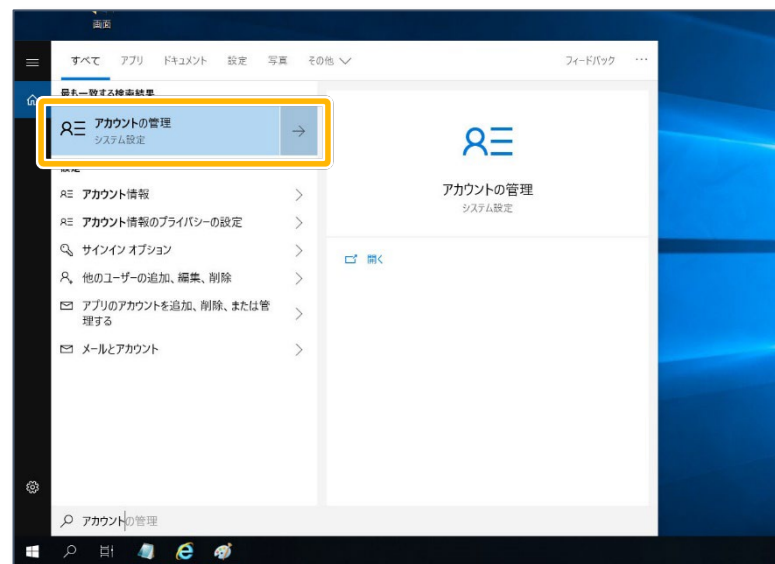
1 Windowsを起動します。

検索をクリックし、検索ボックスに**アカウント**と入力します。



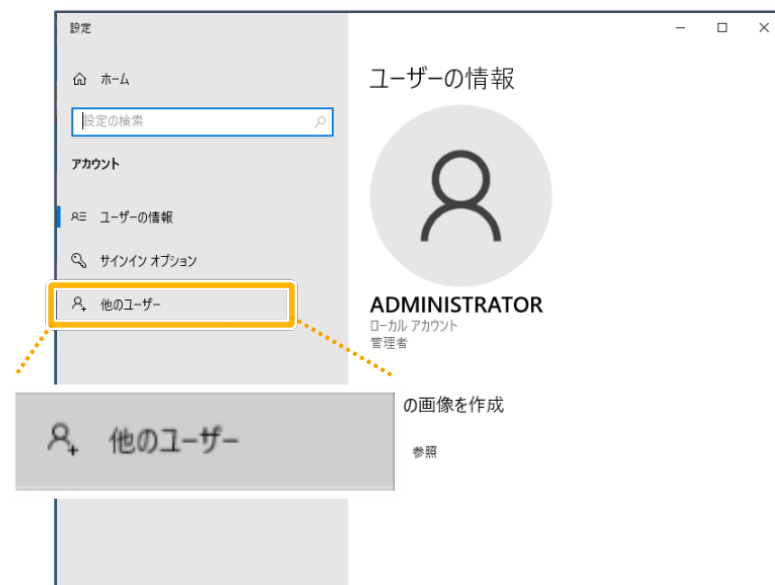
2 検索結果が表示されます。

アカウントの管理をクリックします。



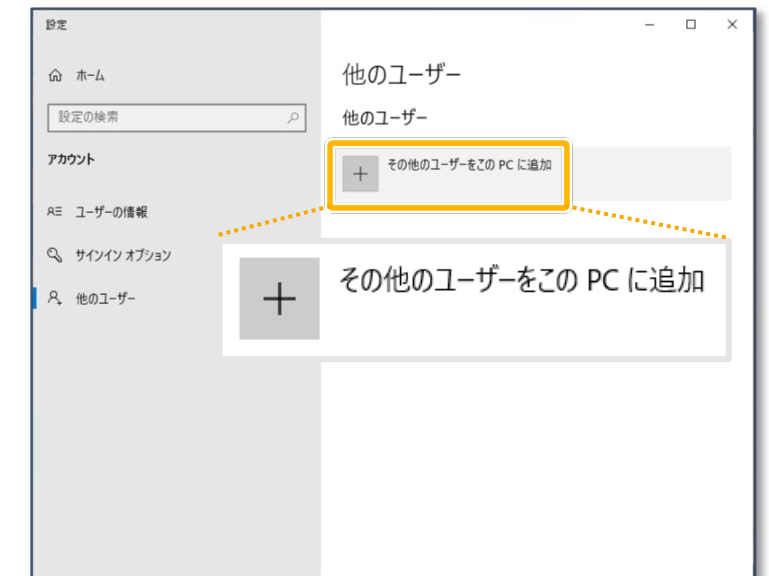
3 ユーザーの情報が表示されます。

他のユーザーをクリックします。



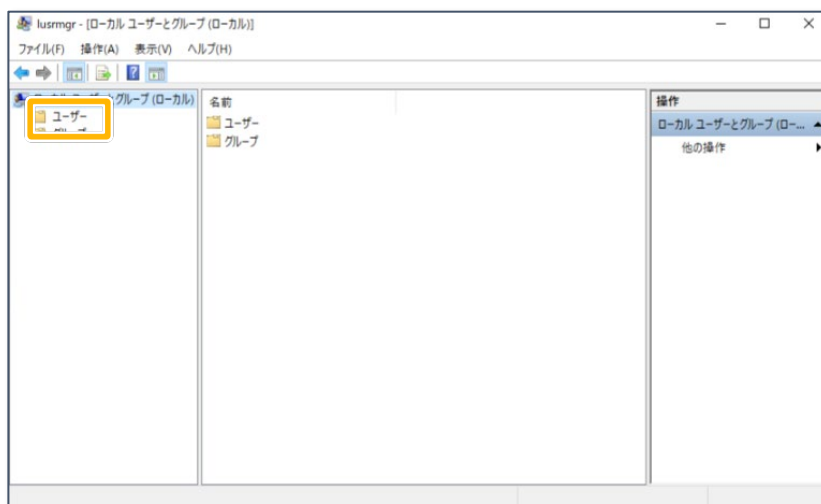
4 他のユーザーが表示されます。

その他のユーザーをこのPCに追加をクリックします。

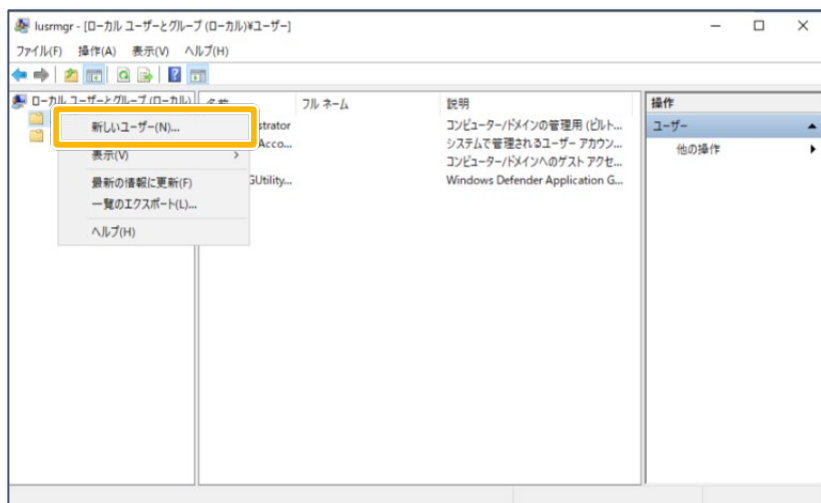


5 ローカルユーザーとグループが表示されます。

ユーザーを選択し、右クリックします。



6 新しいユーザーをクリックします。



7 へ進む

1

WindowsServerにユーザアカウントを追加する（つづき）

- 7 このPC用のアカウントの作成が表示されます。

ユーザー名とフルネームに、**OqsComApp**と入力します。

注意

ユーザ名は大文字と小文字を区別します。

パスワードは任意のパスワードを入力します（2か所）。

注意

「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」、医療機関・薬局のセキュリティポリシー等に従い、Windowsの設定を行ってください。

作成 をクリックします。

こんなときは！

メッセージ画面が表示された場合

医療機関・薬局のセキュリティポリシーとWindows設定のパスワードポリシーが相違ないかご確認ください。

参考) Windows設定のパスワードポリシー初期値

- ・ユーザーのアカウント名またはフルネームに含まれる3文字以上連続する文字列を使用しない。
- ・長さは6文字以上にする。
- ・次の4つのカテゴリのうち3つから文字を使う。
英大文字 (A から Z)
英小文字 (a から z)
10進数の数字 (0 から 9)
アルファベット以外の文字 (!, \$, #, % など)

- 8 **OqsComApp** というユーザーが作成されたことを確認します。

アカウントの種類を変更します

作成したOqsComAppユーザーのアカウントを管理者として設定します。

- 1 グループ を選択します

- 2 Administrators を右クリックします。

表示されるメニューから**プロパティ** をクリックします。

- 3 プロパティ が表示されます。

追加 をクリックします。

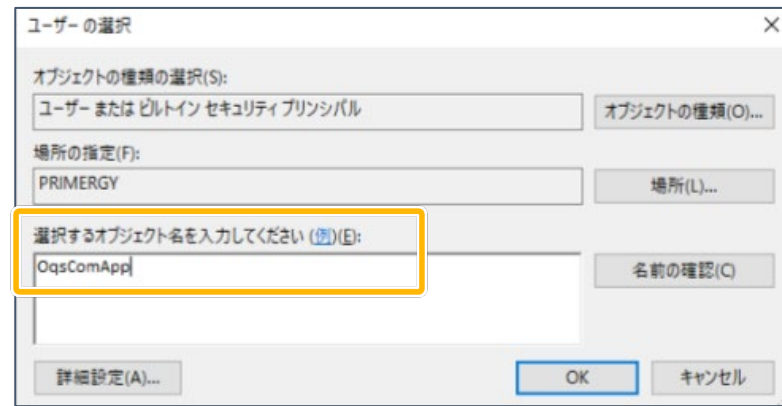
- 4 へ進む

1

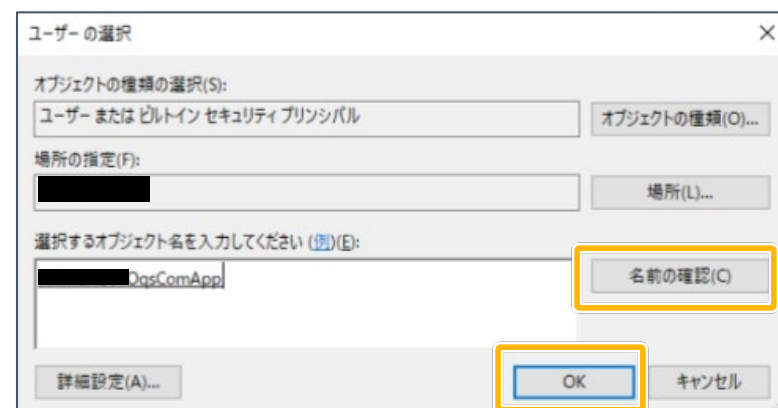
WindowsServerにユーザアカウントを追加する（つづき）

- 4 ユーザーの選択が表示されます。

選択するオブジェクト名を入力してくださいに、**OqsComApp** と入力します。

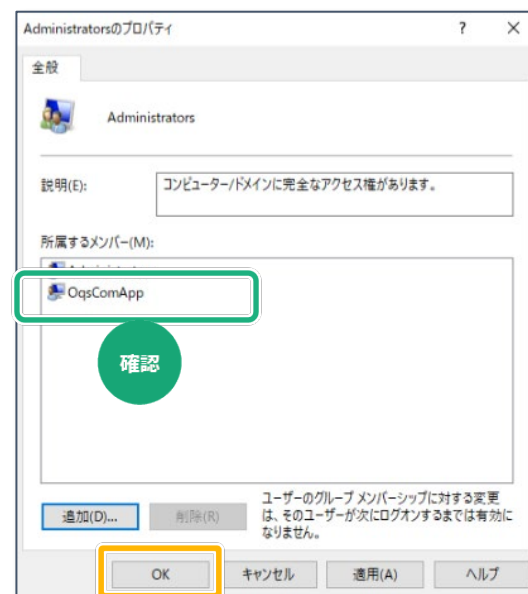


- 5 名前の確認をクリック、**OK** をクリックします



- 6 所属するメンバーに**OqsComApp**が追加されたことを確認します

OK をクリックします

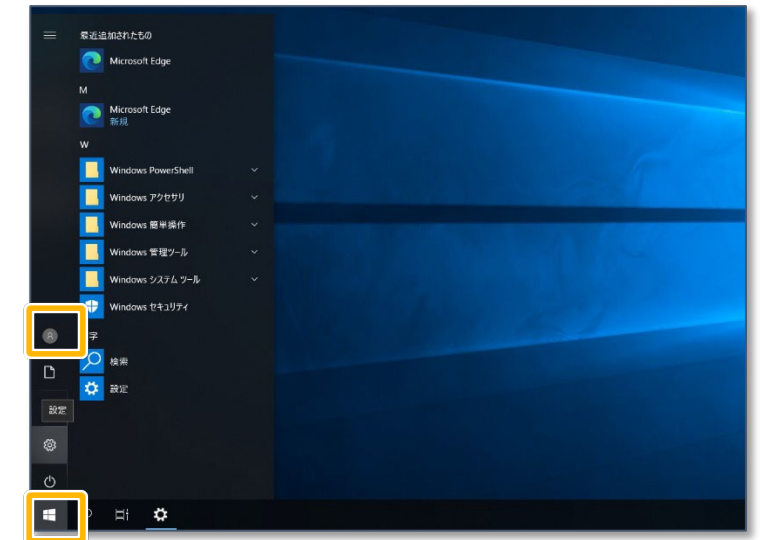


Windows Serverにユーザーが追加されました。
作成したOqsComAppでログインし直します。

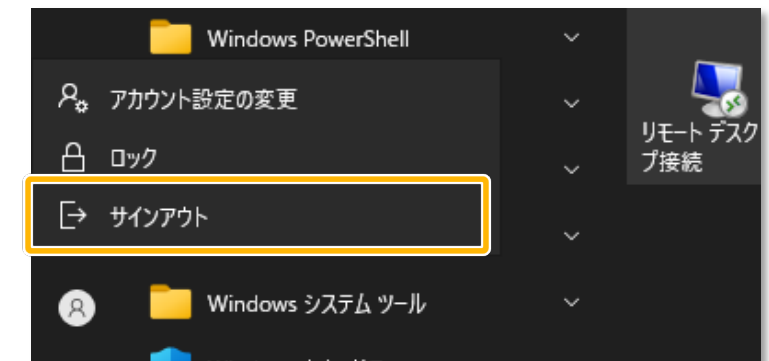
作成したアカウントでログインし直します

作成したアカウントで、Windowsにログインし直します。

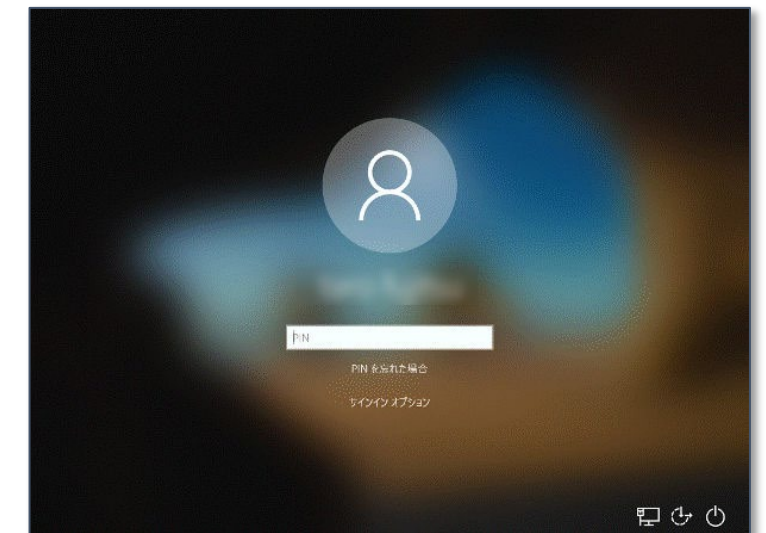
- 1 スタートボタンをクリックし、アカウントアイコンをクリックします。



- 2 サインアウトをクリックします。



- 3 ログイン画面が表示されたら、作成したOqsComAppでログインします。



作成したOqsComAppでログインできました。

2

Windowsの設定を変更する（配信アプリケーション準備等）

配信アプリケーションインストールのための準備およびオンライン資格確認等システムにおける画面、テキスト、項目サイズ等について以下のWindowsの設定を変更します。

- プロキシサーバーの設定
- 時刻設定の変更
- ディスプレイの設定

上記項目は必要に応じて設定してください。

プロキシサーバーを設定します

- 1 Microsoft Edgeを起動し、（設定など）から**設定**をクリックします。



- 2 設定が表示されます。

システムとパフォーマンスをクリックします。



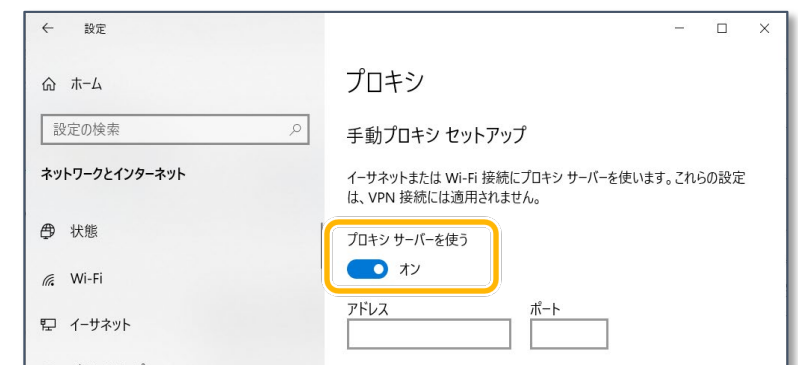
- 3 システムが表示されます。

コンピューターのプロキシ設定を開く をクリックします。



- 4 プロキシが表示されます。

手動プロキシ セットアップの**プロキシサーバーを使う**の設定を有効（トグルボタンが右側にある状態）にします。



! プロキシ設定の内容は利用される配信方法（ネットワーク構成）に応じて異なります。ご利用の環境がどの構成に当てはまるかご確認の上、次の **5** の設定を行ってください。

① 配信拠点起点の構成

→ 本手順のとおり設定してください（次の **5** の設定を行ってください）。

② ネットワーク事業者起点の構成

→ 提供するネットワーク事業者にお問い合わせください。

③ 医療機関等起点の構成

→ 医療機関システム管理者、もしくはシステムベンダーへお問い合わせください。

また、プロキシサーバーが以下の要件を満たす必要があります。併せてご確認ください。

- ・ 手動プロキシ セットアップによるプロキシサーバー指定が可能であること
- ・ 「d2vhvuj0j7c8bh.cloudfront.net」への接続が許可されていること

※上記以外にも、医療機関等の環境に応じて許可が必要なアドレスがある場合は設定してください。

- ・ プロキシ認証が不要であること

使用する回線に応じて、構成は以下のとおり分類されます（2021年6月時点）。

■ IPsec+IKEサービス提供事業者（インターネット接続方式）

事業者名	構成
株式会社NTTPCコミュニケーションズ	配信拠点起点
株式会社NTTデータ中国	ネットワーク事業者起点
富士通株式会社	配信拠点起点
三菱電機 インフォメーション ネットワーク 株式会社	ネットワーク事業者起点

■ IP-VPN接続方式（光回線）

事業者名	構成
NTT東日本・西日本	配信拠点起点
中部テレコミュニケーション 株式会社（CTC）	配信拠点起点
株式会社QTnet	配信拠点起点

■ その他

医療機関・薬局等のプロキシサーバー等を使用し、インターネットを経由して、配信クラウド、マイクロソフトに直接アクセス（構成：医療機関等起点）

5 以下の内容を入力します。

アドレス

proxy.base.oqs-pdl.org

ポート 8080

次のエントリで始まるアドレス以外にプロキシサーバーを使います。…

*.onshikaku.org;
*.flets-east.jp;
*.flets-west.jp;
*.lineauth.mnw;
*.obn.managedpki.ne.jp;
*.cybertrust.ne.jp;
*.secomtrust.net;
*.rece;
*.rece.jp;
pweb.base.oqs-pdl.org

6 保存 をクリックします。



こんなときは！

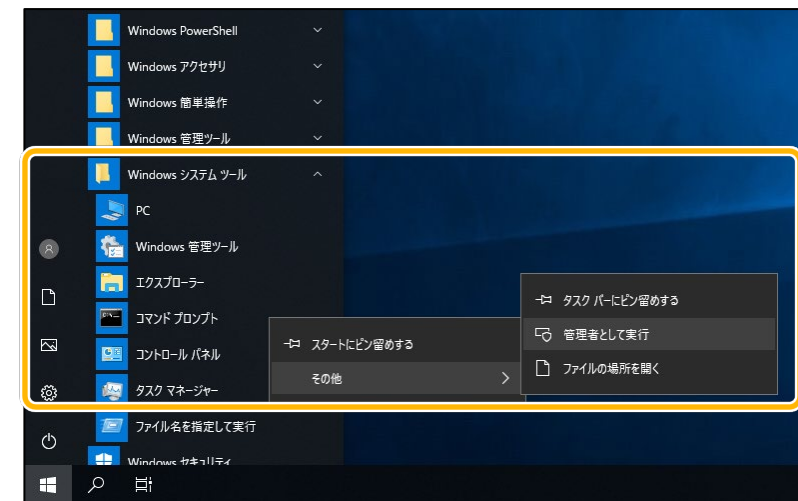
プロキシサーバーを使用しないアドレスの登録について

左記以外にも、医療機関等の環境に応じて登録が必要なアドレスがある場合は追加してください。

複数のアドレスを登録する場合、アドレスごとに区切り文字（セミicolon（;））を必ず入力してください。

7 コマンドプロンプトを起動します。

スタートボタンをクリックし、表示されるメニューから**Windowsシステムツール**を選択します。**コマンドプロンプト**メニューを右クリックし、**その他→管理者として実行**をクリックします。



8 管理者：コマンドプロンプトが表示されます。

以下のコマンドを入力し、Enterキーを押します。

```
netsh winhttp import proxy source=ie
```



9 以下の内容が表示されたことを確認します。



表示内容

現在の WinHTTP プロキシ設定

プロキシサーバー：proxy.base.oqs-pdl.org:8080

バイパス一覧：*.onshikaku.org;*.flets-east.jp;*.flets-west.jp;
.lineauth.mnw;.obn.managedpki.ne.jp;
.cybertrust.ne.jp;.secomtrust.net;
.rece;.rece.jp;pweb.base.oqs-pdl.org

※バイパス一覧は表示内容確認のため、アドレスごとに任意の箇所で行っています。（実際は改行されません）

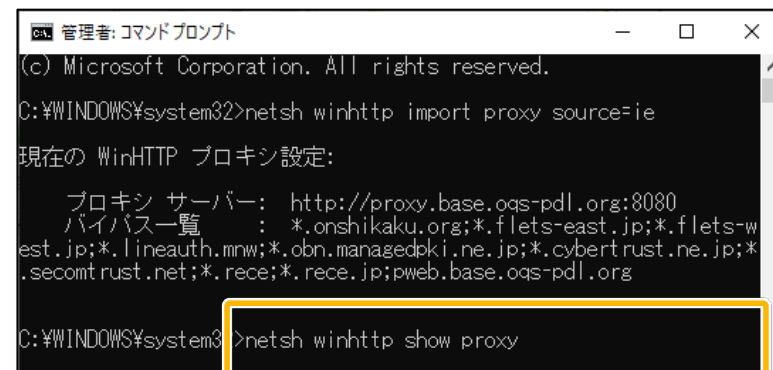
10 へ進む

2

Windowsの設定を変更する（配信アプリケーション準備等）（つづき）

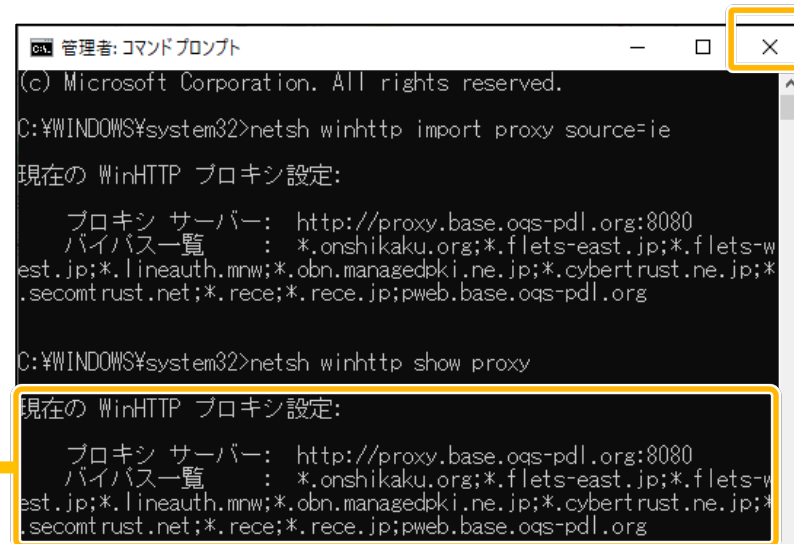
- 10 以下のコマンドを入力し、Enterキーを押します。

netsh winhttp show proxy



- 11 以下の内容（9 と同じ）が表示されたことを確認します。

確認が完了したら、右上の
✕（閉じる）をクリックして画面を閉じます。



表示内容

現在の WinHTTP プロキシ設定

プロキシ サーバー : proxy.base.oqs-pdl.org:8080
 バイパス一覧 : *.onshikaku.org;*.flets-east.jp;*.flets-west.jp;
 .lineauth.mnw;.obn.managedpki.ne.jp;
 .cybertrust.ne.jp;.secomtrust.net;
 .rece;.rece.jp;pweb.base.oqs-pdl.org

※バイパス一覧は表示内容確認のため、アドレスごとに任意の箇所で改行しています（実際は改行されません。）。

注意

- 4 ❗ で記載したネットワーク事業者起点の構成 又は医療機関等起点の構成の場合は、問い合わせた内容どおりに設定されていることを確認してください。

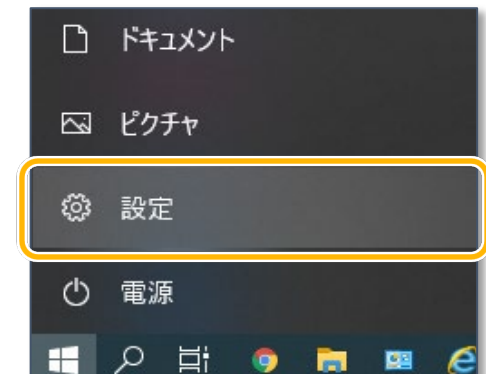
プロキシサーバーが閉塞している期間は、Windows Updateがエラーになります。プロキシサーバーの運用スケジュールは、医療機関等向け総合ポータルサイトを確認してください。

プロキシサーバーの設定が完了しました。

時刻の設定を変更します

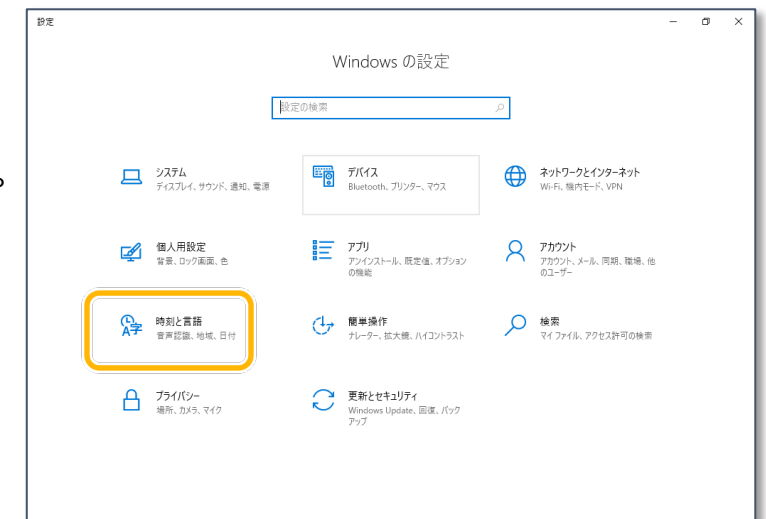
ネットワーク事業者起点の構成、又は医療機関等起点の構成の場合、5 の代替として指定可能なインターネット時刻サーバーが存在するかを構成ごとの問い合わせ先にご確認ください。存在しない場合は本設定をスキップしてください。

- 1 スタートメニューの**設定**をクリックします。



- 2 Windowsの設定が表示されます。

時刻と言語をクリックします。



- 3 日付と時刻が表示されます。

別のタイムゾーンの時計を追加するをクリックします。



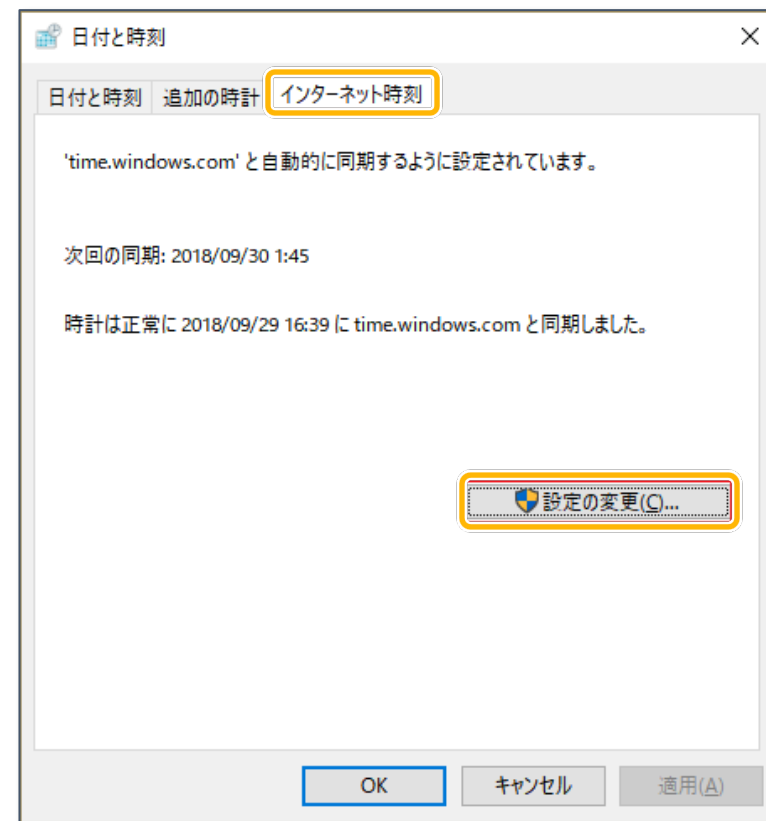
4 へ進む

2

Windowsの設定を変更する（配信アプリケーション準備等）（つづき）

4 日付と時刻が表示されます。

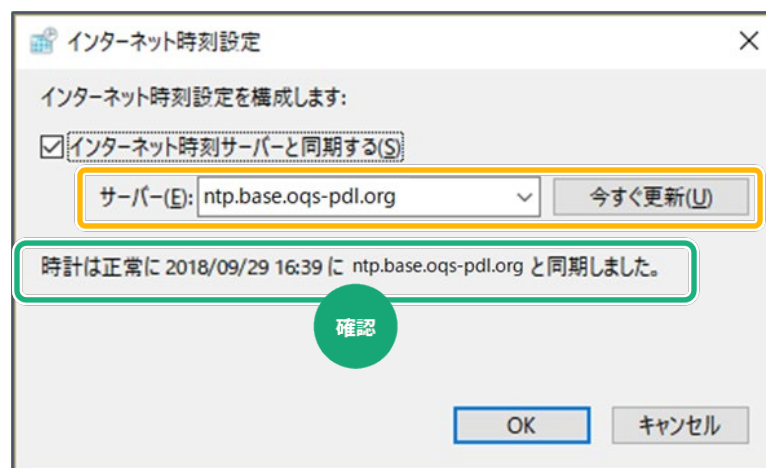
インターネット時刻タブをクリックし、**設定の変更**をクリックします。



5 インターネット時刻設定が表示されます。

サーバーに以下の内容を入力し、**今すぐ更新**をクリックします。

ntp.base.oqs-pdl.org



6 右図のメッセージが表示されたことを確認します。

💡 こんなときは！ 同期が失敗した場合

「ntp.base.oqs-pdl.org と同期中にエラーが発生しました。ピアは解決されていません。」と表示されます。

<対処方法>

入力内容に誤りがないか確認してください。解消しない場合は、通信回線の設定が正しくされていることを確認（ネットワーク事業者より提供されたマニュアルを参照）してください。

💡 こんなときは！ ご利用のネットワーク機器がDNSラウンドロビン非対応の場合

配信拠点のNTPサーバはDNSラウンドロビンにより、複数のIPアドレスを応答します。該当する場合、別紙トラブルシューティング をご確認ください。

➡ 別紙 トラブルシューティング 補24

時刻の設定変更が完了しました。

ディスプレイ設定を変更します

オンライン資格確認等システムにおける画面、テキスト、項目等のサイズをディスプレイ設定で100%に設定します。
設定しない場合、下図右側のようにボタンが収まらず、スクロールが発生することがあります。

■ 100%に設定している場合



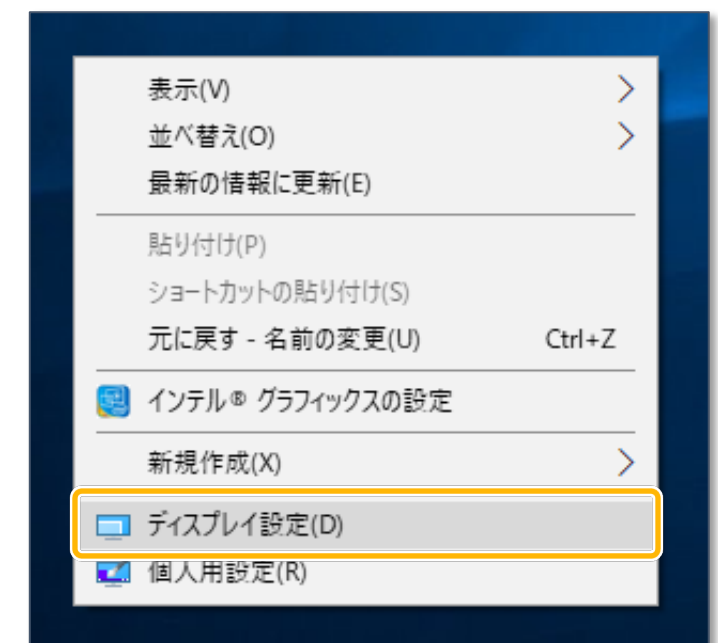
画面がすべて表示された状態になります。

■ 100%に設定していない場合



場合によっては上記のように画面がすべて表示されず、スクロールが必要となります。

1 連携アプリ搭載サーバーのデスクトップで右クリックし、表示されるメニューから**ディスプレイ設定**をクリックします。



2へ進む

2

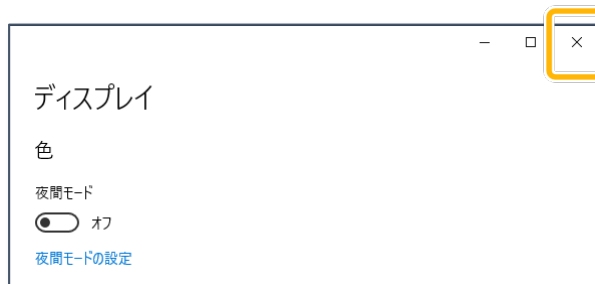
Windowsの設定を変更する（配信アプリケーション準備等）（つづき）

2 設定が表示されます。

拡大縮小とレイアウトの
テキスト、アプリ、その他の
項目のサイズを変更する を
100% にします。



3 ×（閉じる）をクリックします。



オンライン資格確認等システムにおける画面、テキスト、項目サイズ等に関するWindows設定変更が完了しました。

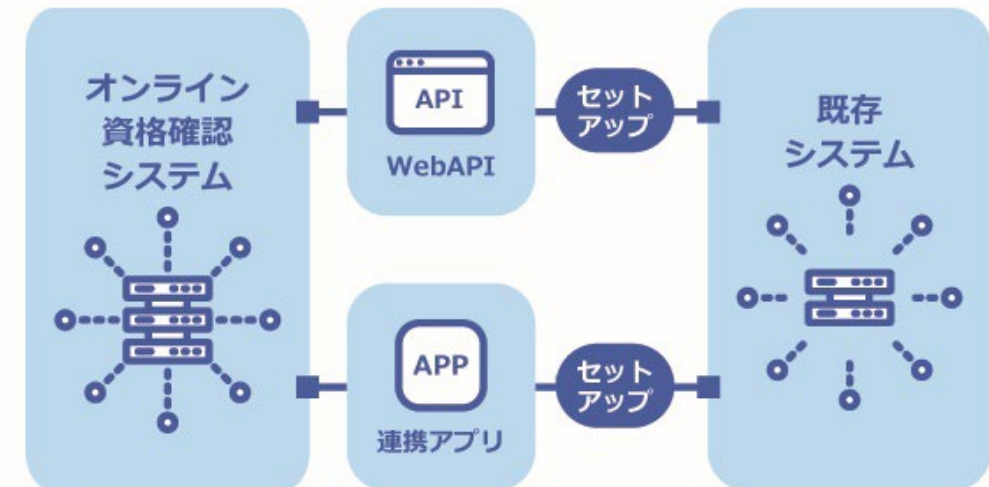
➡ 3 連携アプリケーションをインストールする に進みます

3

連携アプリケーションをインストールする

❗ 医療機関・薬局等のHIS等（レセコン含む）既存システムとオンライン資格確認等システム及び電子処方箋管理サービス、電子カルテ情報共有サービスが、ファイル連携するためには連携アプリケーションが必要です。

連携アプリケーションを設定します。



連携アプリケーションのインストールは以下の流れで実施します。
本項では資産の複写の手順を説明します。

ダウンロード

連携アプリケーションをダウンロードします。
(医療機関等ベンダー)

資産の複写

連携アプリケーションを連携アプリ搭載サーバーにセットアップします。

資格設定／
定期起動設定

連携アプリケーションの起動設定を行います。

動作確認

連携アプリケーションが動作するか確認します。

※本項で説明します

注意

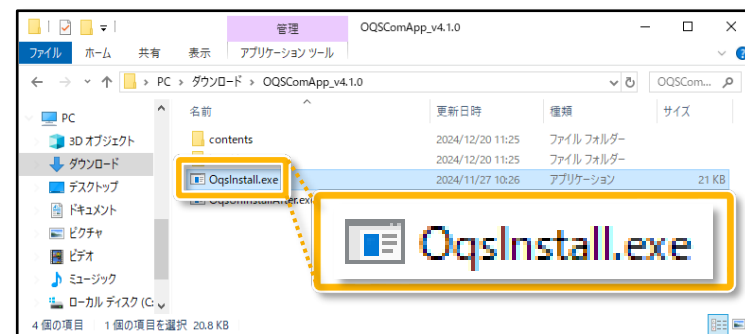
資格設定および連携アプリケーションの定期起動の設定については、操作6のアカウント作成で連携アプリ用アカウントを作成した後の設定となります。操作9の資格確認できるか確認で実施します。

3 連携アプリケーションをインストールする（つづき）

01 連携アプリケーションインストーラーの実行

医療機関等ベンダーより連携アプリケーションを入手しセットアップします。

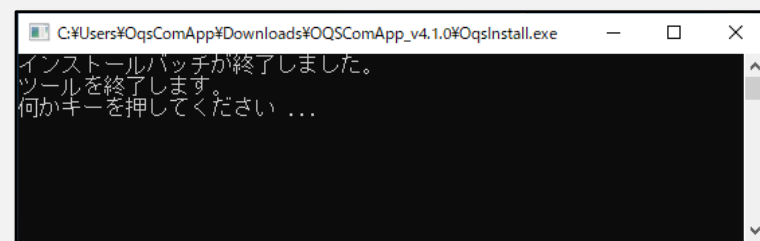
- 1 連携アプリケーションの**セットアップファイル**をダブルクリックします。



こんなときは！

メッセージ画面が表示された場合

ツールを終了します。
何かキーを押してください...というメッセージ画面が表示された場合は、
何かキーを押すと、画面が閉じます。



- 2 OqsComApp セットアップが表示されます。

ソフトウェア使用許諾条件の内容をよく読み、同意する場合は**使用許諾契約書に同意します**をチェックして、**インストール**をクリックします。



こんなときは！

メッセージ画面が表示された場合

このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？というメッセージ画面が表示された場合は、**はい** をクリックしてインストールを続行します。



- 3 セットアップが完了すると、セットアップウィザード完了が表示されます。

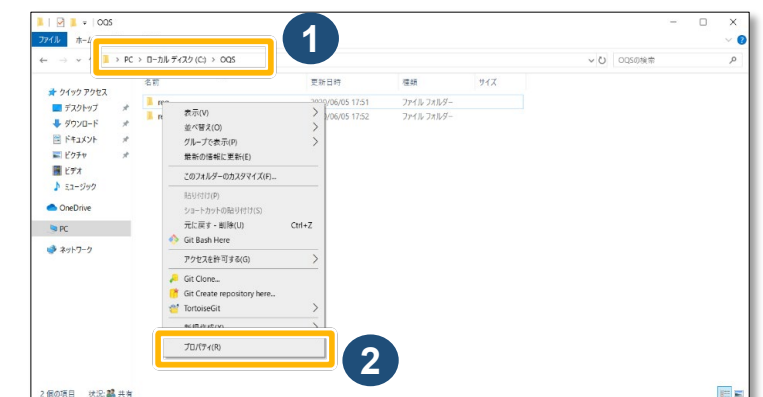
完了をクリックします。



02 共有フォルダの設定

要求データファイルや結果データファイルを格納するフォルダ（C:¥OQS¥req, C:¥OQS¥res）を共有する場合、インストールで生成されたフォルダに共有の設定を行います。

- 1 エクスプローラーで、**ローカルディスク (C:)**にある**OQSフォルダ**を開きます。



- 2 reqフォルダ 又は resフォルダを右クリックし、表示されるメニューから**プロパティ**をクリックします。

- 3 プロパティが表示されます。
共有タブをクリックします。



- 4 共有タブが表示されます。
共有をクリックします。

5へ進む

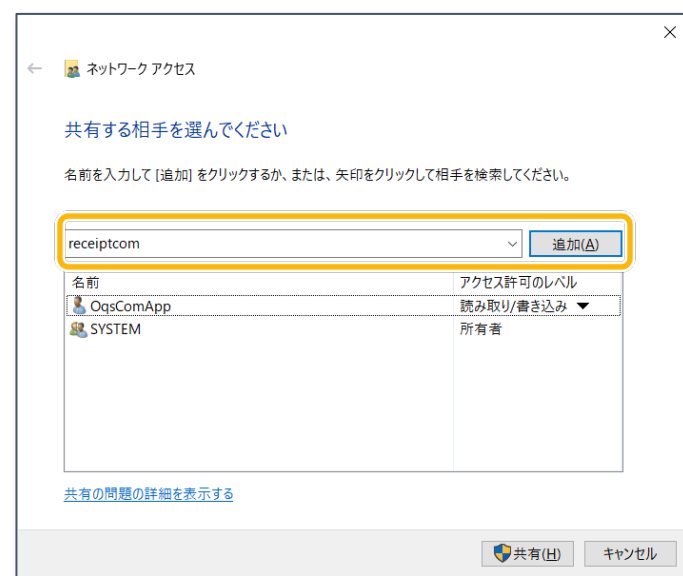
3

連携アプリケーションをインストールする（つづき）

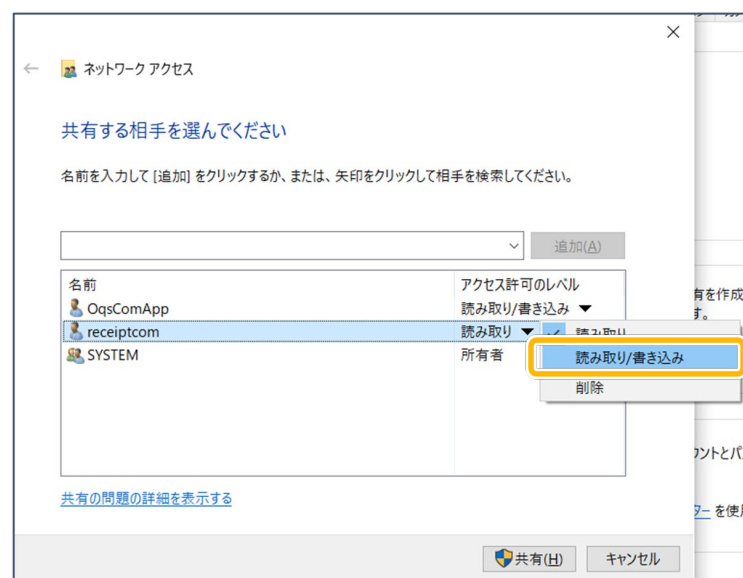
- 5 ネットワークアクセスが表示されます。

共有を許可するアカウント名（※医療機関で個別に決定したレセプトコンピュータからアクセスするアカウント名）を選択し、**追加** をクリックします。

例)
receiptcomを選択



- 6 アクセス許可のレベルの▼をクリックし、**読み取り／書き込み**を選択します。



- 7 アクセス許可レベルに、読み取り／書き込みと表示されます。

共有をクリックします。



- 8 **終了**をクリックします。



- 9 プロパティが表示されます。

閉じるをクリックします。



連携アプリケーションのインストールが完了した又はインストールが不要な場合は次のステップに進みます。

4 認証局の電子証明書をインストールするに進みます

こんなときは！

共有するフォルダを変更したい場合やフォルダ格納時に暗号化の設定をしたい場合

共有するフォルダの場所などは、既定の場所以外を設定することができます。また、データ格納時に暗号化するなどセキュリティ設定をすることもできます。これらの設定をする場合は、**連携アプリケーション導入手順書**を参照してください。

4

認証局の電子証明書をインストールする

認証局の電子証明書をインストールします。電子証明書はお使いのサーバーが、連携アプリ搭載サーバーとしてセットアップされていることを証明するために必要です。電子証明書をまだ取得していない場合は、以下のサイトから発行依頼またはダウンロードを行い、セットアップしてください。

- 電子証明書発行申請サイトURL : <https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/rcr>
- 電子証明書の取得サイトURL : <https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/rcd>

発行依頼

電子証明書発行を依頼します。

ダウンロード

電子証明書を連携アプリ搭載サーバーにダウンロードします。

セットアップ

電子証明書を連携アプリ搭載サーバーにセットアップします。

※本書で説明します

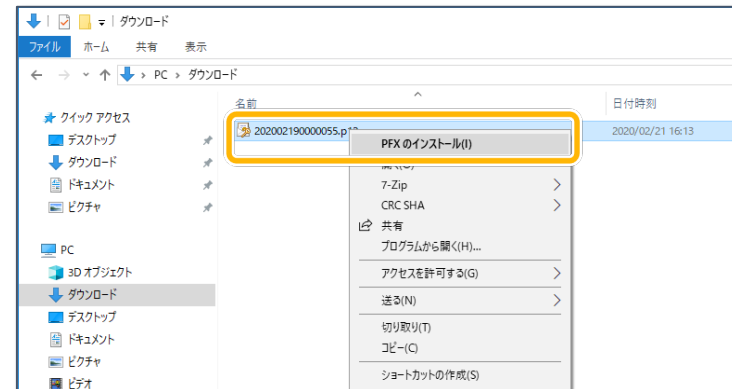
電子証明書の発行依頼については、**オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局電子証明書の発行等申請の手引き**を、電子証明書の取得、更新等の手順については、**オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局ユーザーマニュアル**を参照してください。

01 セットアップ

電子証明書を連携アプリ搭載サーバーにセットアップします。

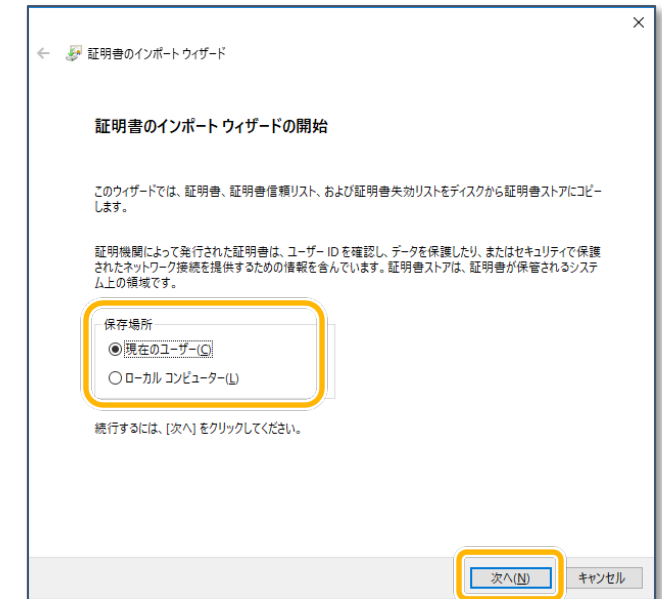
- 1 保存した電子証明書ファイルが保存されているフォルダを開きます。

電子証明書ファイルを右クリックし、表示されたメニューから**PFXのインストール**をクリックします。



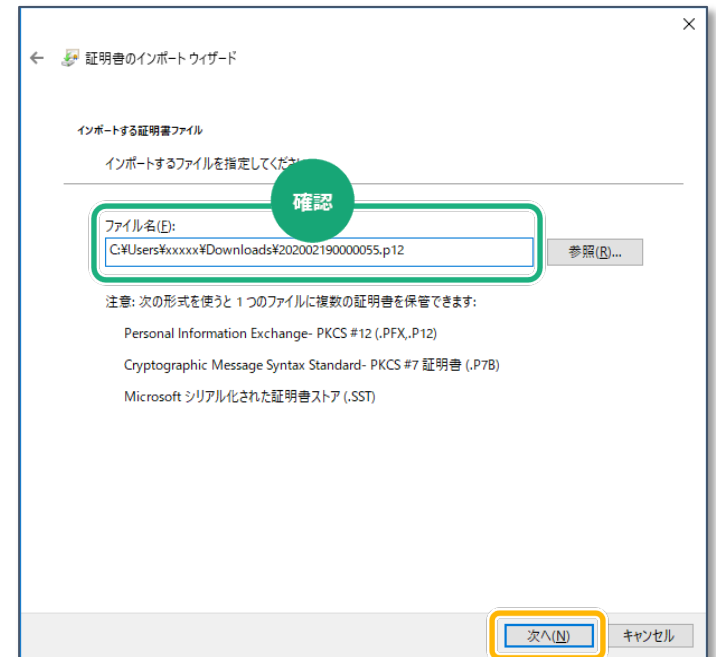
- 2 証明書のインポートウィザードが表示されます。

保存場所は**現在のユーザー**を選択し、**次へ**をクリックします。



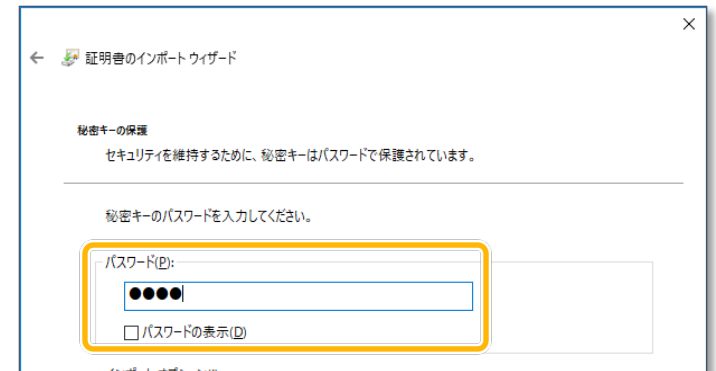
- 3 インポートする証明書ファイルが表示されます。

ファイル名に電子証明書のファイル名が表示されていることを確認し、**次へ**をクリックします。



- 4 秘密キーの保護が表示されます。

パスワードに電子証明書ダウンロード時に設定した証明書パスワードを入力します。



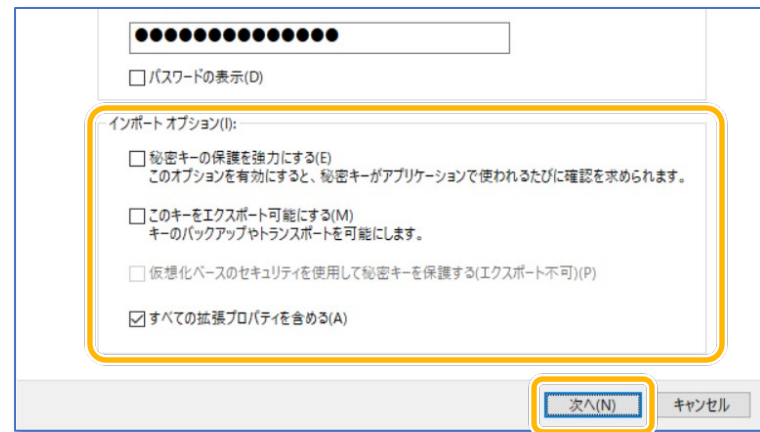
5 へ進む

4

認証局の電子証明書をインストールする（つづき）

5 インポートオプションについて、以下の内容を設定します。設定後、次へをクリックします。

- 秘密キーの保護を強力にする
：チェックをしない
- このキーをエクスポート可能にする
：チェックをしない
- すべての拡張プロパティを含める
：チェックをする



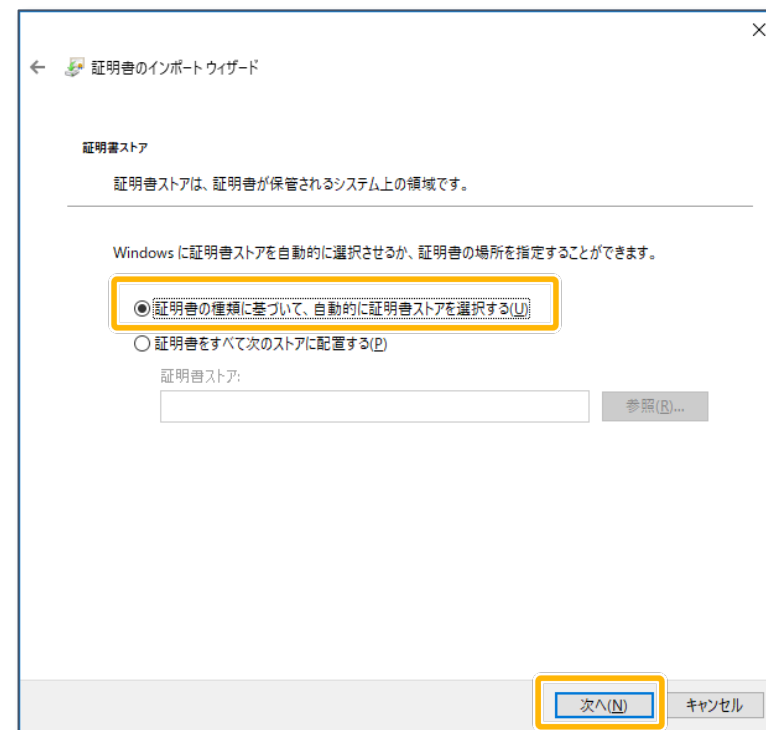
こんなときは！

秘密キーの保護を強力にするのチェックをする場合、または、チェックを外せない場合

オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局
ユーザーマニュアルを参照し、パスワードを設定します。

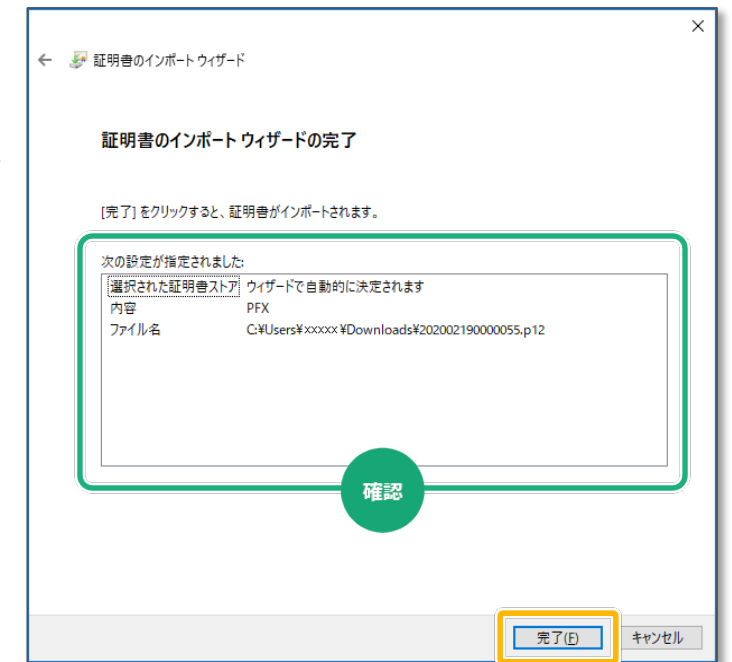
6 証明書ストアが表示されます。

証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択するを選択し、次へをクリックします。



7 証明書のインポートウィザードの完了が表示されます。

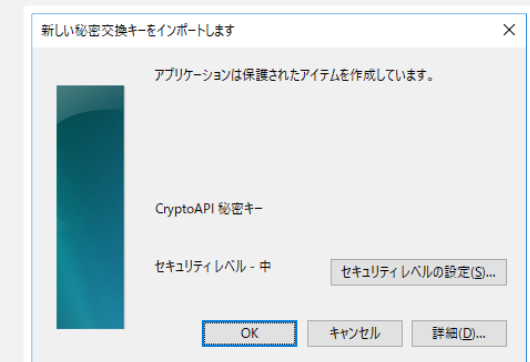
電子証明書のファイル名等を確認し、完了をクリックします。



こんなときは！

新しい秘密交換キーをインポートします。が表示された場合

5の「秘密キーの保護を強力にする」にチェックした場合、右図の画面が表示されるときがあります。この場合は、オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局ユーザーマニュアルを参照してください。



8 セキュリティ警告が表示されます。

※本画面が表示されず正しくインポートされました画面が表示された場合は、次に進んでください。

Windowsの信頼されたルート証明機関に証明書発行者（認証局）の証明書を登録するため、はいをクリックします。



9へ進む



注意

いいえ をクリックした場合は、インストール中止となり、電子証明書がセットアップされません。電子証明書のインストールを再度実施する必要があります。

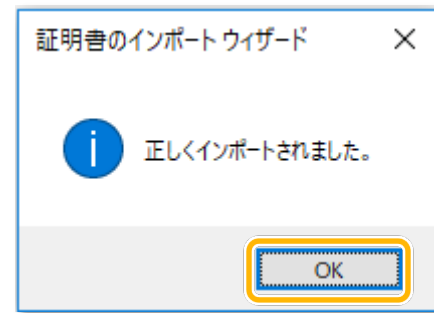
1に戻り、再セットアップしてください。

4

認証局の電子証明書をインストールする（つづき）

- 9 正しくインポートされました。
が表示されます。

OKをクリックします。



02 セットアップ結果の確認

電子証明書が、ブラウザに正しく登録されたかを確認します。

- 1 Microsoft Edgeを起動し、
…（設定など）から**設定**を
クリックします。



- 2 設定が表示されます。

プライバシー、検索、サービス
から**証明書の管理**をクリック
します。



- 3 証明書が表示されます。

個人タブに、発行者が
**Online Billing NW
Common Root CA**と表示
されている証明書が登録され
ていることを確認します。

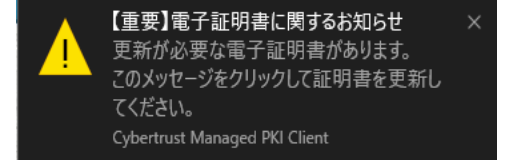
確認後、**閉じる**をクリックし
ます。



注意

MPKIクライアント（Cybertrust Managed PKI Client）のインストール

MPKIクライアントとは、電子証明書の有効期限が到来する前に更新通知を送信したり、電子証明書の更新時期が到来した際に、更新を簡単に行うことができる機能です。以下のマニュアルを参照し、インストールしてください。



（参照先）オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局ユーザーマニュアル
1.5 MPKIクライアントインストール

注意

MPKIクライアントによる証明書の更新と顔認証機器の更新

医療機関コードの変更を伴う証明書の更新を行った場合、顔認証機器の再設定が必要になります。なお、設定にあたっては各社の取扱説明書、操作マニュアル等を参照してください。

電子証明書をセットアップできました。

続いて、オンライン資格確認等システムに接続できるかを確認します。

➡ 5 オンライン資格確認等システムに接続する に進みます

5 オンライン資格確認等システムに接続する

オンライン資格確認等システムに接続します。また、本番環境に接続するためのショートカットをデスクトップに作成します。

本番環境 <https://hweb.oqs.onshikaku.org/web/>

注意

IP-VPN接続方式（フレッツ光接続）でオンライン資格確認等システムに接続する医療機関等の方へ

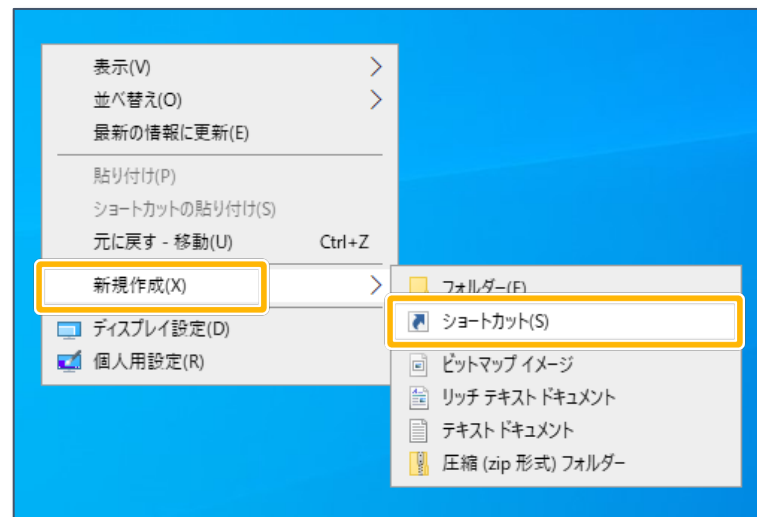
IP-VPNでオンライン資格確認等システムに接続する場合は、「回線認証接続」を行う必要があります。「回線認証接続」は以下を参照してください。

（参照先）オンライン資格確認等システム接続ガイド(IP-VPN接続方式) 3-1回線認証接続

ショートカットを作成する

オンライン資格確認等システムに接続するためのショートカットを、デスクトップに作成します。

- 1 デスクトップで右クリックします。表示されるメニューから**新規作成→ショートカット**をクリックします。

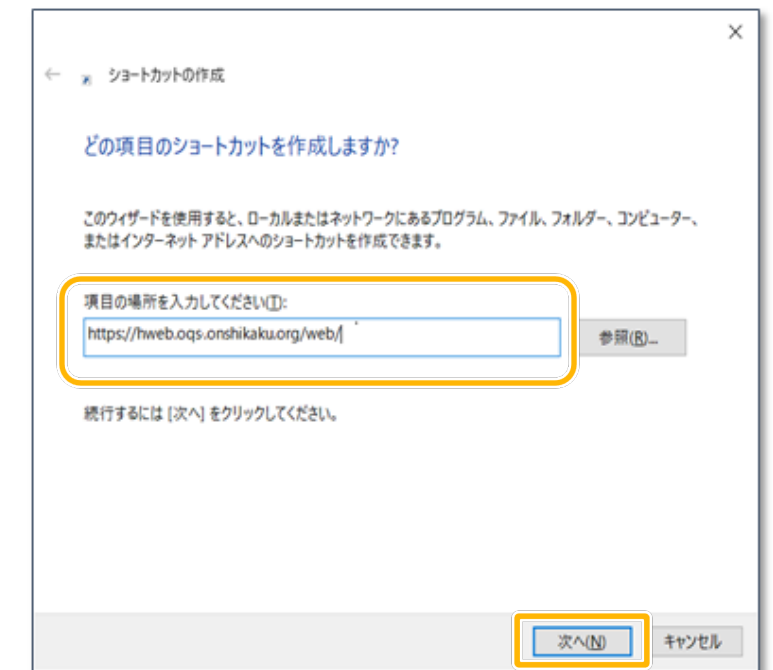


- 2 ショートカットの作成が表示されます。

項目の場所を入力してくださいに以下の内容を入力します。

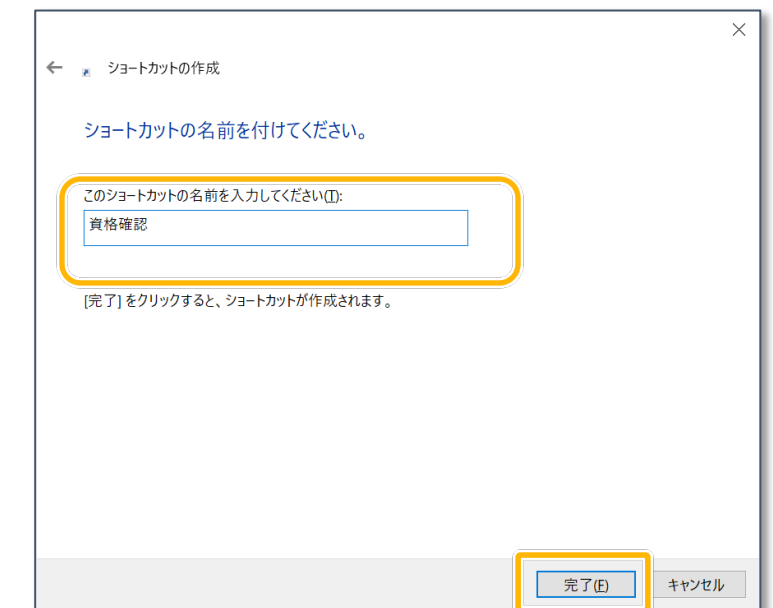
<https://hweb.oqs.onshikaku.org/web/>

入力後、**次へ**をクリックします。



- 3 **このショートカットの名前を入力してください**に、任意のショートカットの名前を入力します。
※右図では**資格確認**としています。

入力後、**完了**をクリックします。



- 4 デスクトップにショートカットが作成されました。



5

オンライン資格確認等システムに接続する（つづき）

オンライン資格確認等システムにログイン

オンライン資格確認等システムにログインできることを確認します。

- 1 作成されたショートカットをダブルクリックします。



- 2 認証用の証明書の選択が表示されます。

認証用の証明書をクリックし、OKをクリックします。

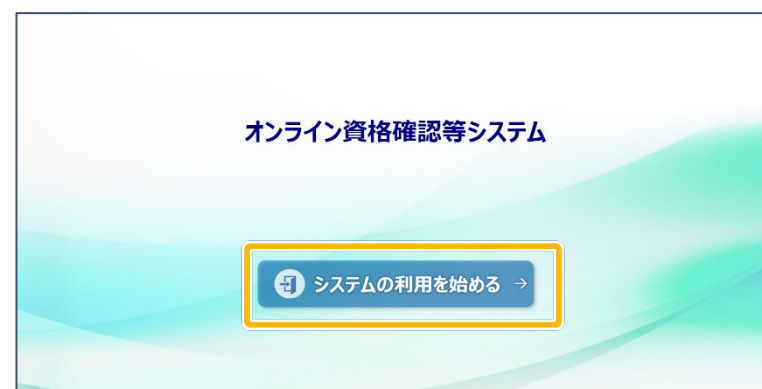


こんなときは！

認証用の証明書の選択画面が表示されない

証明書が正しくインストールされていることを確認してください。

- 3 システムの利用を始める→をクリックします。



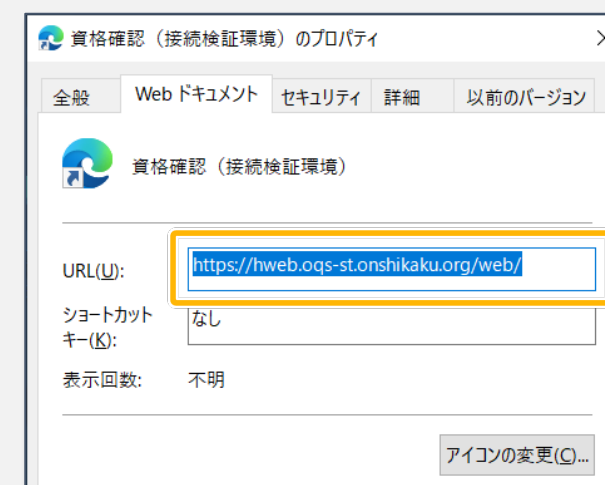
こんなときは！

ログイン画面が表示されない／「接続検証環境」又は「医療情報閲覧用端末」と表示される

ショートカット作成時に入力したURLに誤りがないか確認してください。

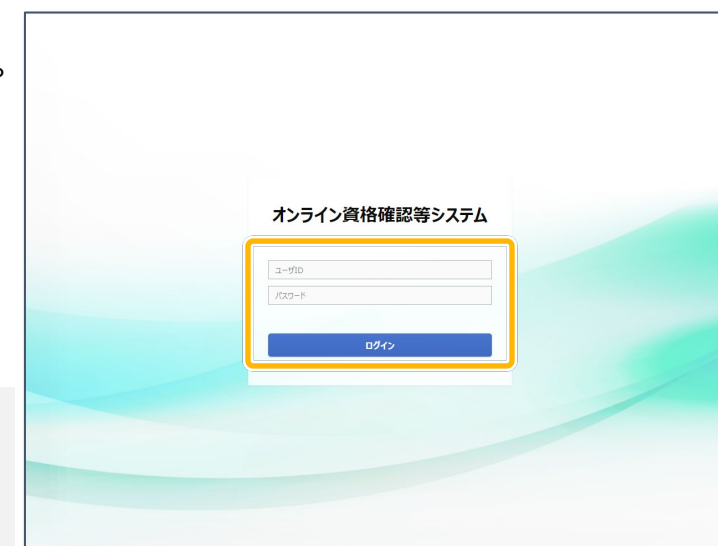
《確認方法》

ショートカットアイコンを右クリックし、表示されるメニューからプロパティを選択します。表示されるプロパティ画面のURLを確認してください。



- 4 ログイン画面が表示されます。

利用申請時に入手したマスタアカウントのIDとパスワードを入力し、ログインをクリックします。



こんなときは！

エラーが表示される

入力したID、パスワードに間違いがないか確認してください。

5 へ進む

5

オンライン資格確認等システムに接続する（つづき）

注意

オンライン資格確認等システムに、一定期間マスタアカウントでログインしていなかった場合、以下のようなメッセージ画面が表示されますので、パスワードの変更を行ってください。

別紙 トラブルシューティング 補6

オンライン資格確認等システム
パスワード変更

パスワード変更

旧パスワード:

新パスワード:

新パスワード(確認):

変更

パスワード変更

パスワードの有効期限が終了しています。
パスワードを変更してください。

OK

- 5 新しいお知らせが登録されている場合は、お知らせ一覧が表示されます。
お知らせが登録されていない場合はメニューが表示されます（6に進みます。）。

閉じるをクリックします。

お知らせ一覧

「全体」お知らせ一覧

検索結果: 5 件 1-5件表示 <<前へ 1 次へ>>

項番	表題	公開日	公開終了日
1	【情報】診断	2020/09/01	
2	【情報】診断	2020/09/01	
3	【情報】診断	2020/09/01	
4	【情報】診断	2020/09/01	

「個別」お知らせ一覧

項番	表題	公開日	公開終了日
----	----	-----	-------

閉じる

- 6 メニューが表示され、オンライン資格確認等システムにログインできました。

オンライン資格確認等システム

お知らせ一覧

アカウント情報管理

アカウント管理 (登録)

アカウント管理 (更新)

パスワード変更

- 7 マスタアカウントのパスワードの変更を行う場合は、**パスワード変更**をクリックします。

オンライン資格確認等システム

お知らせ一覧

アカウント情報管理

アカウント管理 (登録)

アカウント管理 (更新)

パスワード変更

- 8 パスワード変更が表示されます。
新パスワード、新パスワード（確認）に新しいパスワードを入力し、**変更**をクリックします。

オンライン資格確認等システム
パスワード変更

パスワード変更

旧パスワード:

新パスワード:

新パスワード(確認):

変更

パスワード変更

パスワードの有効期限が終了しています。
パスワードを変更してください。

OK

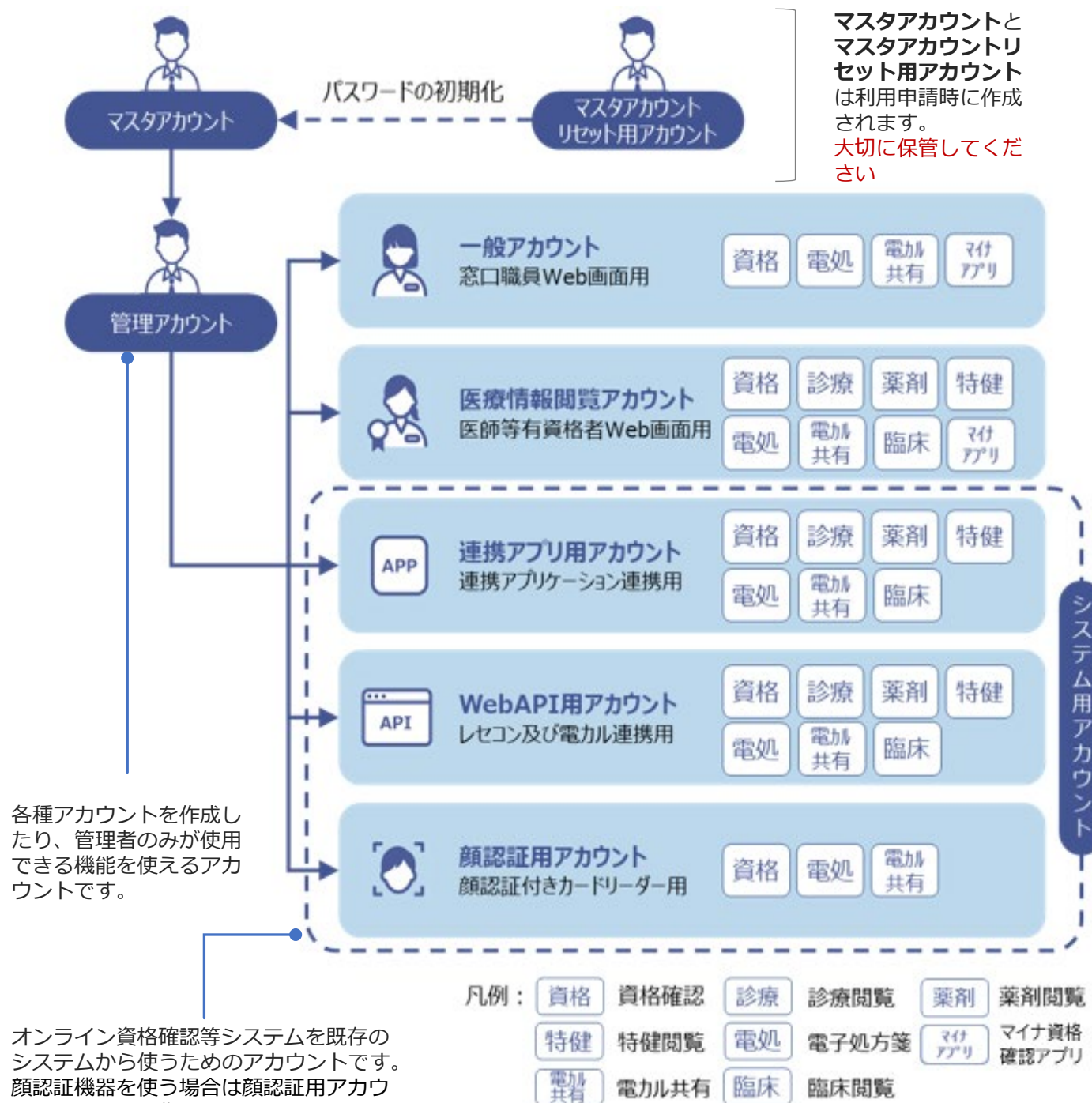
オンライン資格確認等システムへの接続が完了しました。

6 アカウントを作成する に進みます

6

アカウントを作成する

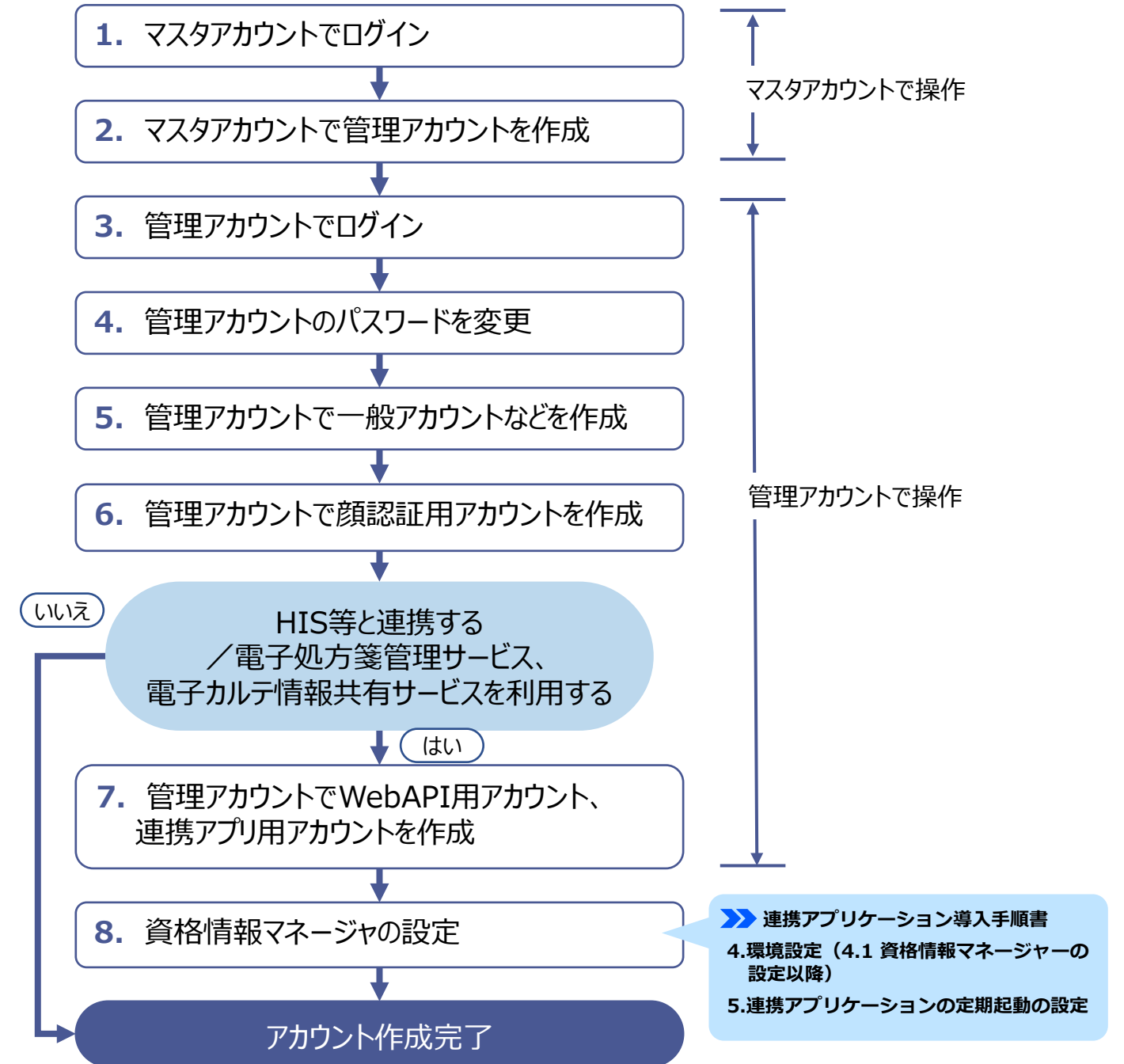
オンライン資格確認等システムを利用する利用者、顔認証機器、連携アプリケーションなどのアカウントを登録します。
一般アカウント、医療情報閲覧アカウントは個人ごとに、連携アプリ用アカウント、WebAPI用アカウントは連携アプリ搭載サーバーごとにアカウントを作成します。



アカウント作成のながれ

アカウントの作成は、以下の流れで実施します。
アカウント作成操作の詳細は、操作マニュアル管理者編を参照してください。

医療機関等向け オンライン資格確認等システム操作マニュアル 管理者編 2章 アカウントを管理する



アカウントの作成が完了しました。

7 文字コード、特健情報等の閲覧同意、電子処方箋管理サービス、電子カルテ情報共有サービスの利用有無を設定するに進みます

7

文字コード、医療扶助、医療情報等の閲覧、電子処方箋管理サービス、電子カルテ情報共有サービス等の利用有無を設定する

オンライン資格確認等システムの文字コードは、初期値として**UTF-8**を使用しています。文字コードを**Shift-JIS**に変更する必要がある場合は、**操作マニュアル**を参照してください。また、医療情報、特定疾病療養受療証、電子処方箋管理サービス、電子カルテ情報共有サービス、医療扶助の情報、救急時医療情報を利用する場合は、情報を利用するか否かの設定も合わせて行ってください。

医療機関等向け オンライン資格確認等システム操作マニュアル 管理者編 3章 環境情報を設定する

※文字コードの変更は管理アカウントでのみ実施可能です。
救急時医療情報は、D X 審査支払機構により救急時医療情報閲覧の権限を付与された「病院」である医療機関のみ設定が可能です。

注意

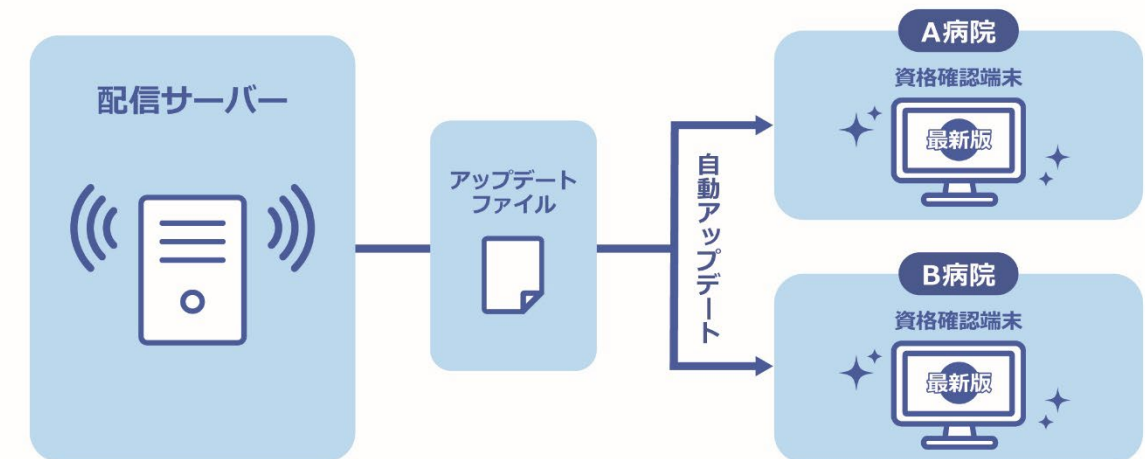
手術情報、診療情報、臨床情報、電子処方箋管理サービス、電子カルテ情報共有サービス、医療扶助、救急時医療情報については、初期設定として「利用しない」が設定されています。

8 配信アプリケーションをインストールする に進みます

8

配信アプリケーションをインストールする

配信アプリケーションをインストールします。配信アプリケーションとは、各医療機関等の連携アプリ搭載サーバーの最新化など、ソフトウェアのインストール、ファイル等を自動配付し、実行する機能です。



配信アプリケーションのインストールは以下の流れで実施します。
本項ではセットアップ以降の手順を説明します。

ダウンロード

配信アプリケーションをダウンロードします。
(医療機関等ベンダー)

セットアップ

配信アプリケーションを連携アプリ搭載サーバーにセットアップします。

タスクの登録

配信アプリケーションが自動起動するよう登録します。

動作確認

配信アプリケーションが動作するか確認します。

01 セットアップ

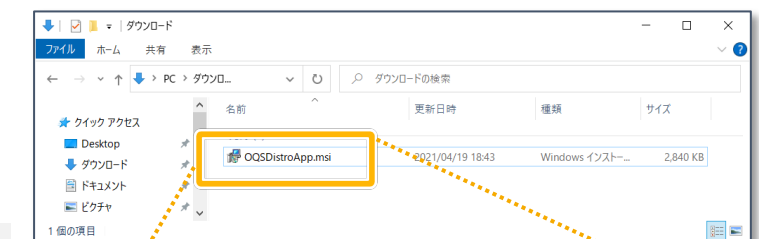
医療機関等ベンダーより配信アプリケーションを入手しセットアップします。

1 配信アプリケーションのセットアップファイルをダブルクリックします。

こんなときは！

メッセージ画面が表示された場合

WindowsによってPCが保護されましたというメッセージ画面が表示された場合は、**実行**ボタンをクリックしてインストールを続行します。



OQSDistroApp.msi

2へ進む

8

配信アプリケーションをインストールする（つづき）

- 2 OqsDistroApp セットアップが表示されます。

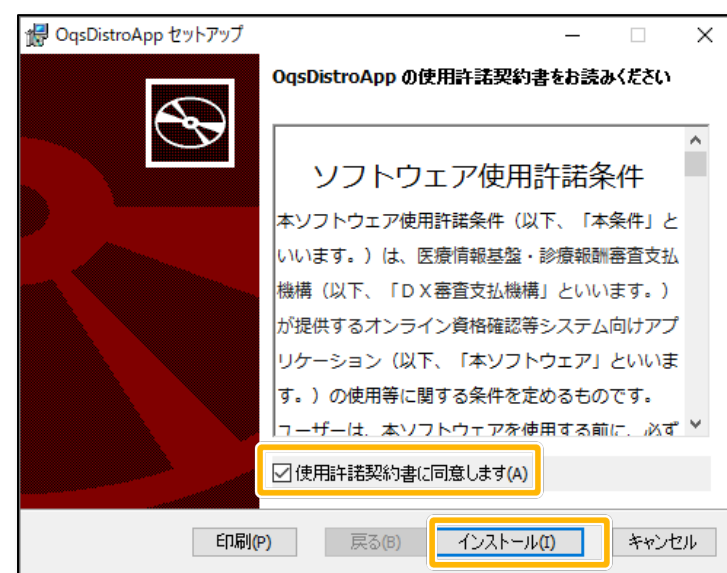
ソフトウェア使用許諾条件の内容をよく読み、同意する場合は**使用許諾契約書に同意します**をチェックして、**インストール**をクリックします。



こんなときは！

メッセージ画面が表示された場合

このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？というメッセージ画面が表示された場合は、**はい**ボタンをクリックしてインストールを続行します。



- 3 セットアップが完了すると、セットアップウィザード完了が表示されます。

完了をクリックします。



- 4 Windowsのデスクトップに**オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツール**のショートカットが作成されたことを確認します。



ネットワーク事業者起点の構成 又は医療機関等起点の構成の場合のみ実施

下表の○が付いた**ネットワーク事業者起点の構成** 又は**医療機関等起点の構成**の場合のみ、本手順を実施してください。（配信拠点起点の構成の場合は、「02 タスクの登録」に進みます。）

使用する回線に応じて、構成は以下のとおり分類されます。

■ IPsec+IKEサービス提供事業者（インターネット接続方式）

事業者名	構成
株式会社NTTPC コミュニケーションズ	配信拠点起点
株式会社NTTデータ中国	ネットワーク事業者起点 ○
三菱電機 インフォメーション ネットワーク 株式会社	ネットワーク事業者起点 ○
富士通株式会社	配信拠点起点

■ IP-VPN接続方式（光回線）

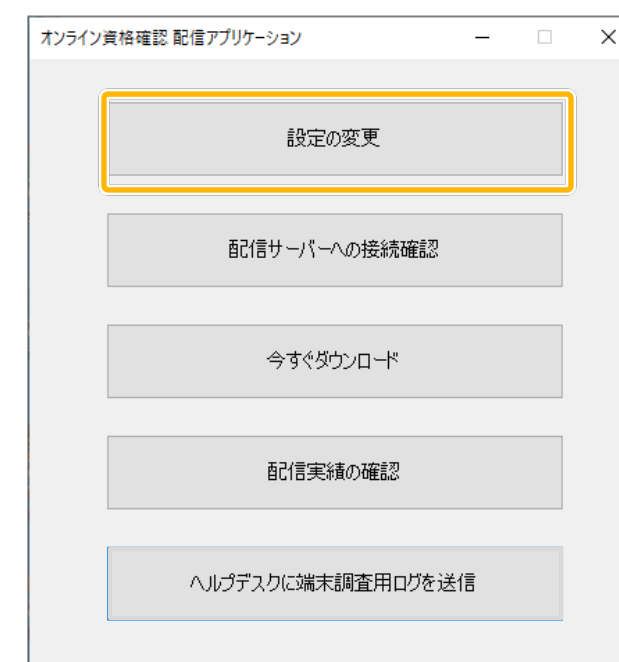
事業者名	構成
NTT東日本・西日本	配信拠点起点
中部テレコミュニケーション 株式会社（CTC）	配信拠点起点
株式会社QTnet	配信拠点起点

■ その他

医療機関・薬局等のプロキシサーバー等を使用し、インターネットを経由して、配信クラウド、マイクロソフトに直接アクセス（構成：医療機関等起点）○

- 1 ショートカットから**オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツール**を起動し、**オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツール**を表示します。

設定の変更をクリックします。



2 へ進む

8

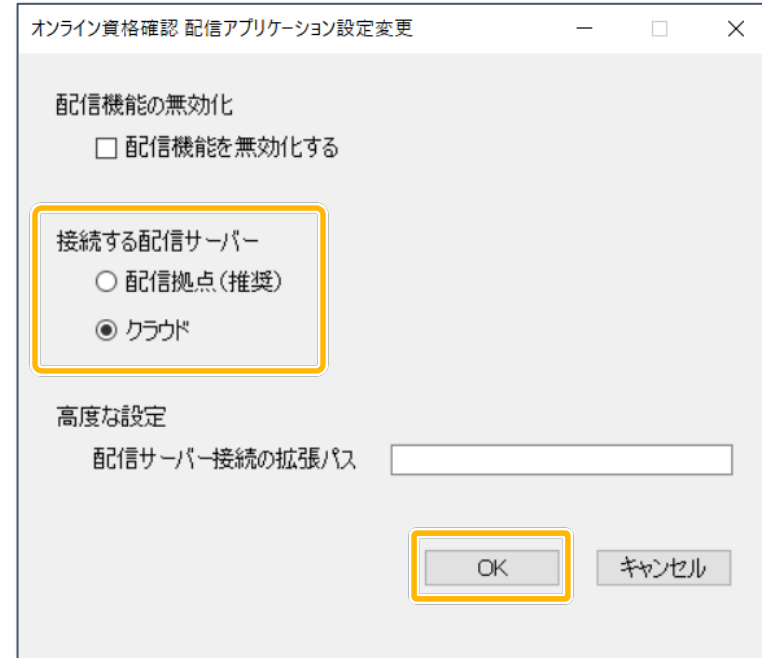
配信アプリケーションをインストールする（つづき）

- 2 オンライン資格確認配信アプリケーション設定変更が表示されます。

接続する配信サーバーでクラウドを選択し、OKをクリックします。

注意

高度な設定にある、配信サーバー接続の拡張パスは、別途案内がない限り設定しないでください。



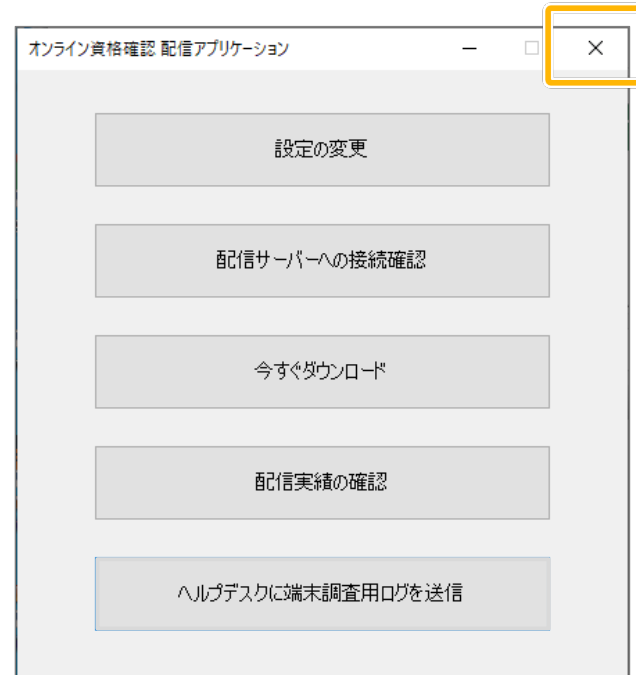
注意

以下の医療機関等の方々は配信アプリケーションによる自動更新を停止してください。
・最新資産のクライアントアプリケーションを手動で適用している方

別紙 トラブルシューティング 補2

- 3 オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツールが表示されます。

管理ツール右上の ×（閉じる）をクリックし、管理ツールを終了します。



配信アプリケーションのセットアップができました。

02 タスクの登録

Windows起動時、配信アプリケーションが自動起動するように下記タスクを登録します。

- ・配信アプリケーション自動起動用タスク（OQS_exec_distroappstart）
- ・配信アプリケーション自動再起動用タスク（OQS_exec_distroappstop_periodic）



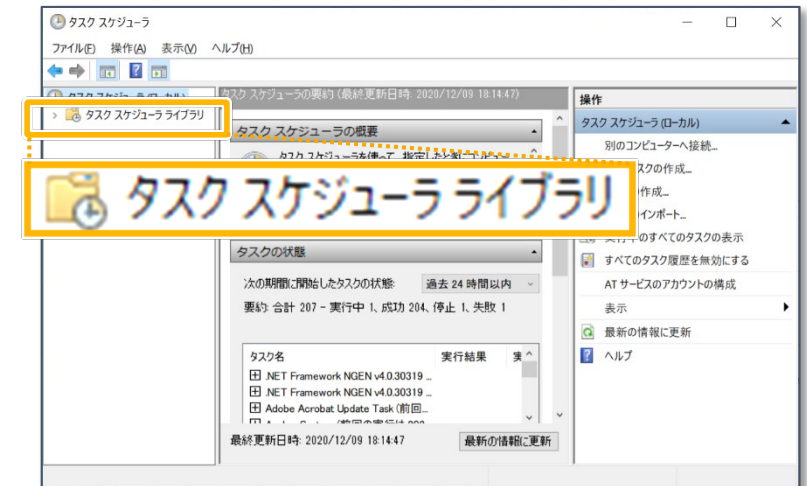
配信アプリケーション自動再起動用タスクは、連携アプリ搭載サーバーの場合のみ登録します。

- 1 検索をクリックし、検索ボックスにタスク スケジューラと入力します。

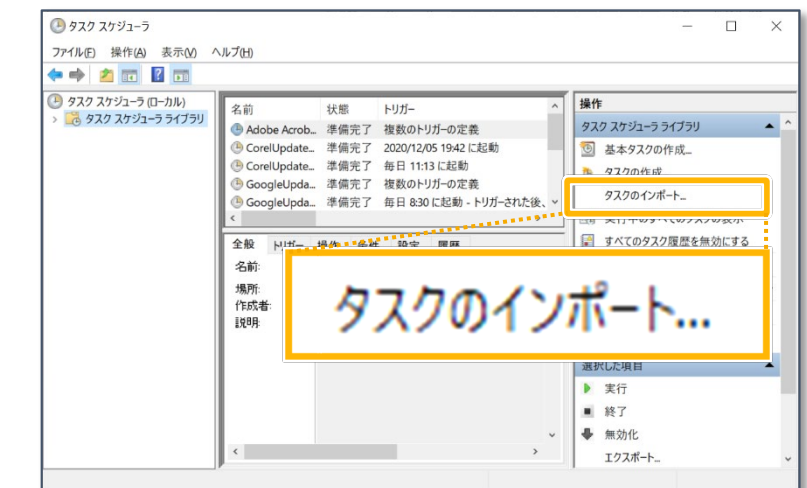
- 2 検索結果から、タスク スケジューラをクリックします。

- 3 タスク スケジューラが表示されます。

左側の領域から、タスク スケジューラ ライブラリをクリックします。



- 4 操作から、タスクのインポートをクリックします。



5 へ進む

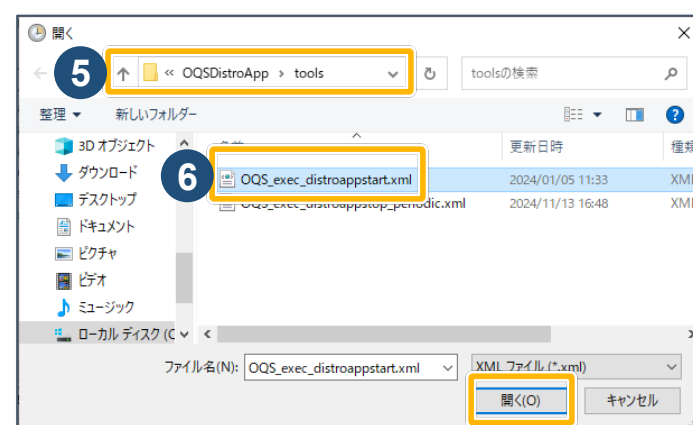
8

配信アプリケーションをインストールする（つづき）

5 開くが表示されます。

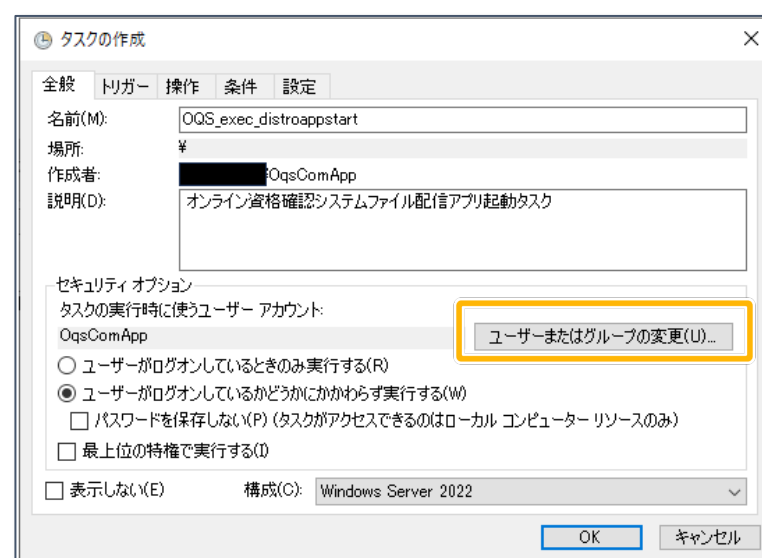
ファイルの場所から、以下のフォルダに切り替えます。

**C:¥Program Files¥OQS
¥OQSDistroApp¥tools**

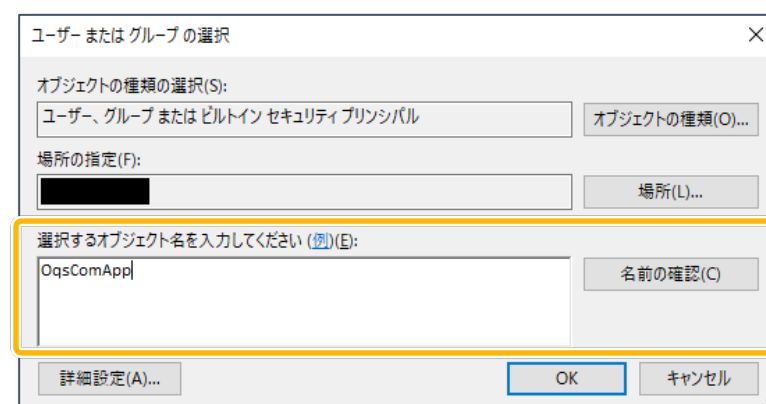
6 フォルダにある
OQS_exec_distroappstart.xml
をクリックし、
開く をクリックします。

7 タスクの作成が表示されます。

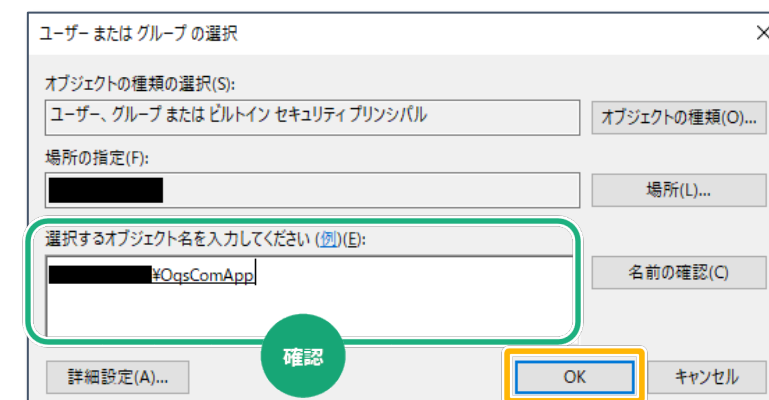
ユーザーまたはグループの変更(U)...をクリックします。

8 ユーザーまたはグループの選
択が表示されます。

選択するオブジェクト名を入
力してくださいに
OqsComAppと入力し、
名前の確認をクリックします。

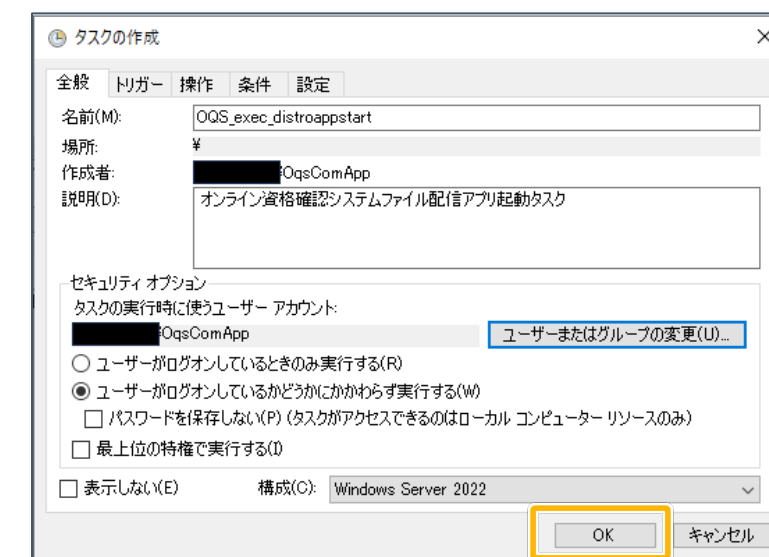
9 **OqsComApp**に下線が表示
されたことを確認します。

OKをクリックします。

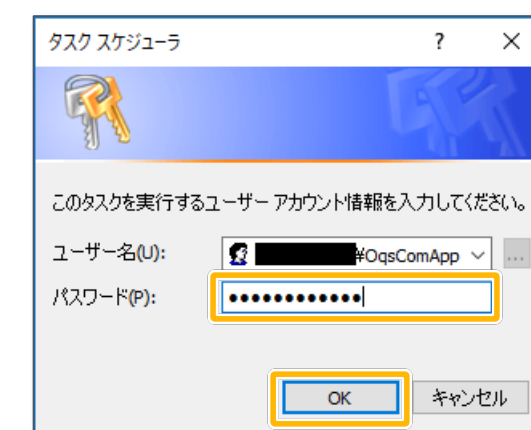


10 タスクの作成が表示されます。

OKをクリックします。

11 パスワード入力画面が表示さ
れます。

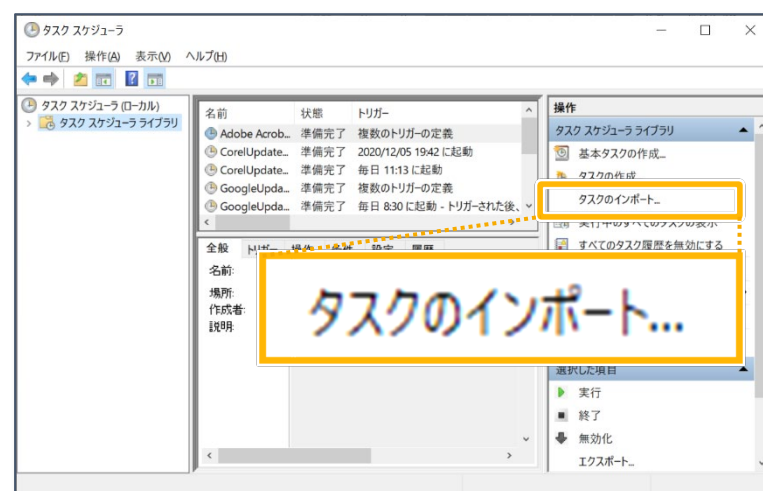
OqsComAppのパスワード
を入力し、**OK**をクリックし
ます。



12 へ進む

12 操作から、タスクのインポートをクリックします。

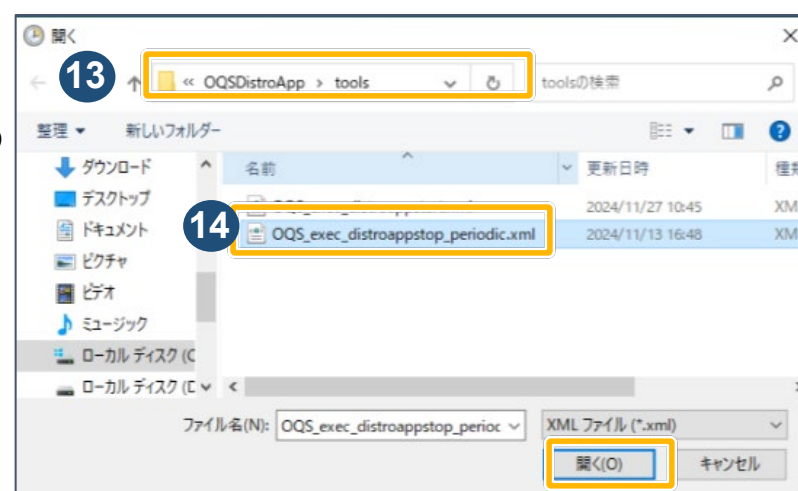
❗ 本タスクは連携アプリ搭載サーバーの場合のみインポートします。



13 開くが表示されます。

ファイルの場所から、以下のフォルダに切り替えます。

C:\Program Files\OQS
OQSDistroApp\tools



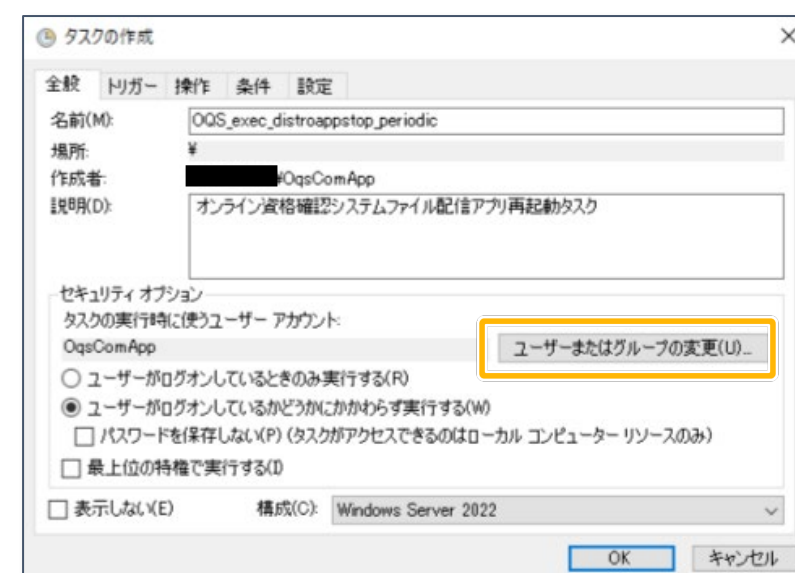
14 フォルダにある OQS_exec_distroappstop_periodic.xml をクリックし、開く をクリックします。

💡 こんなときは！

OQS_exec_distroappstop_periodic.xml が存在しない場合
配信アプリが古い場合、v.2.1.0以降にしてください。

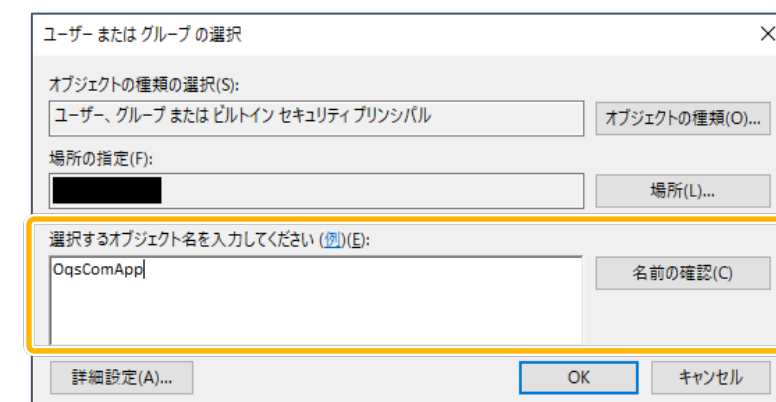
15 タスクの作成が表示されます。

ユーザーまたはグループの変更(U)...をクリックします。



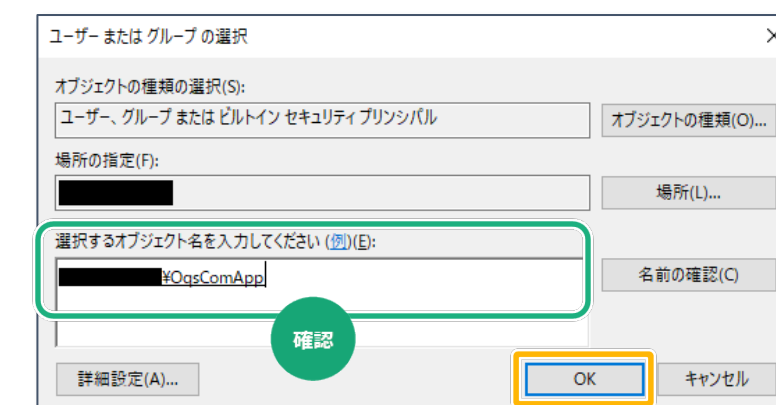
16 ユーザーまたはグループの選択が表示されます。

選択するオブジェクト名を入力してください
OqsComApp と入力し、
名前の確認をクリックします。



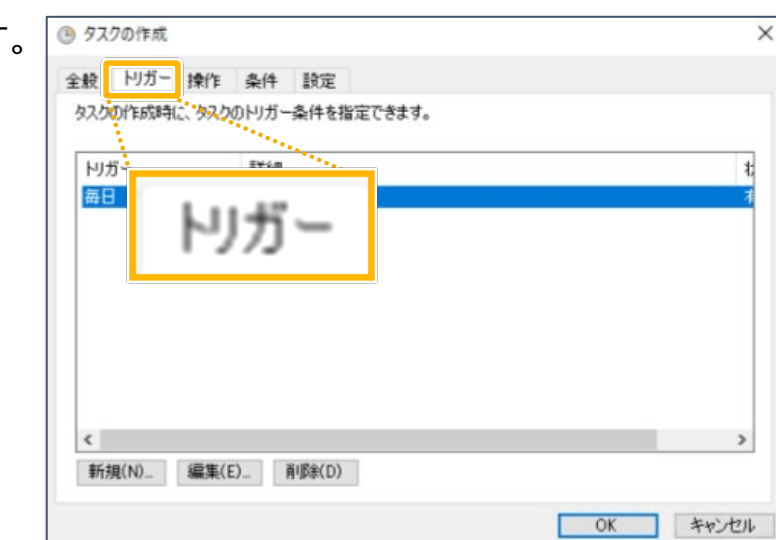
17 OqsComApp に下線が表示されたことを確認します。

OK をクリックします。



18 タスクの作成が表示されます。

トリガーをクリックします。

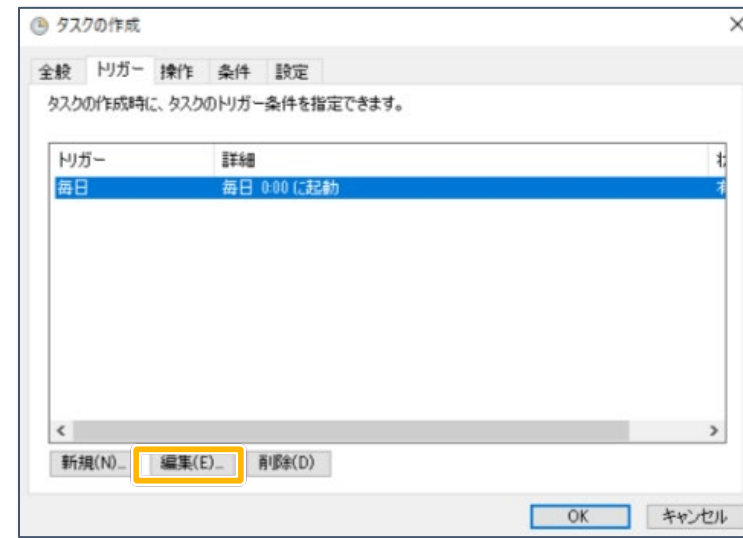


19 へ進む

8

配信アプリケーションをインストールする（つづき）

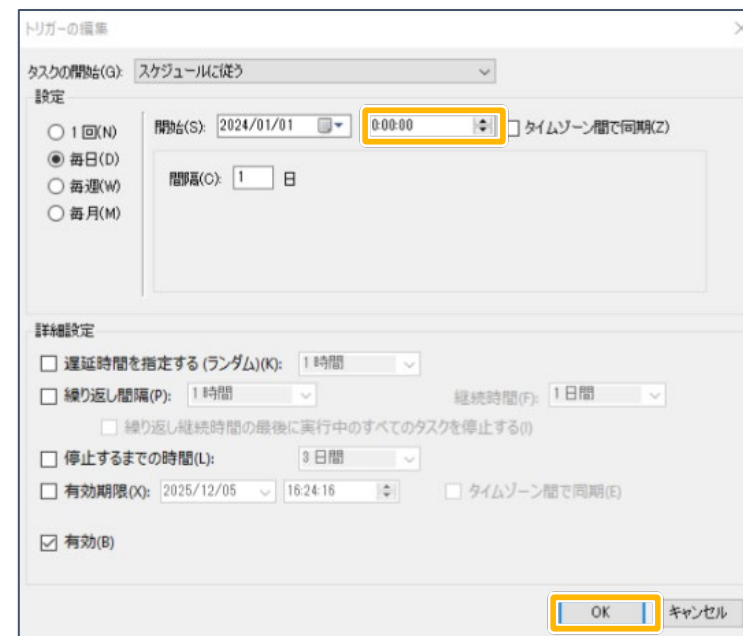
19 編集をクリックします。



20 任意の時間を入力し、OKをクリックします。

注意

配信アプリケーションを再起動する時間の設定です。
運用に支障がない時刻を設定します。

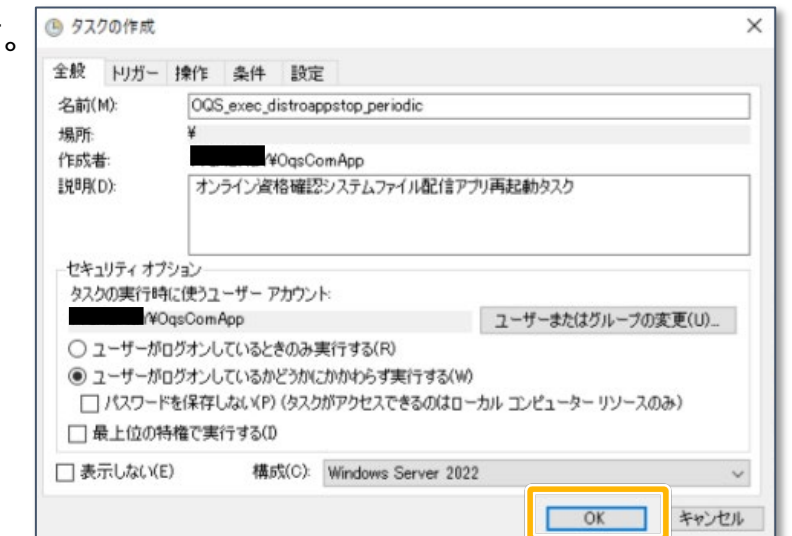


21 入力した時間が指定されていることを確認します。

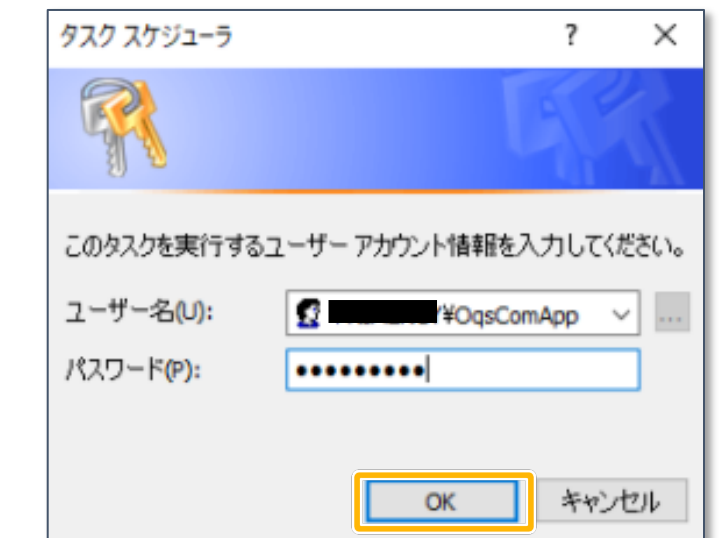
OKをクリックします。



22 タスクの作成が表示されます。
OKをクリックします。



23 パスワードを入力し、OKをクリックします。



24 設定を有効にするためWindowsを再起動します。

配信アプリケーションのタスクが登録されました。

8

配信アプリケーションをインストールする（つづき）

03 動作確認

配信アプリケーションが正しく動作するか確認します。

注意

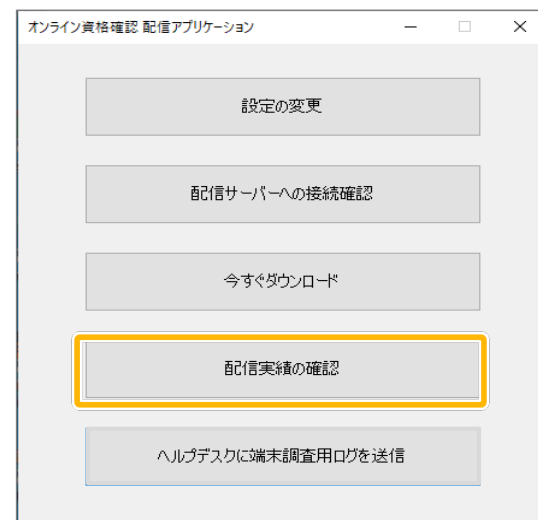
配信サーバーに接続の信号を送り、サーバー接続に成功すると「接続成功」と表示されます。
※ 表示まで時間がかかる場合があります。
1分待つて「接続成功」と表示されない場合や、「接続失敗」と表示された場合は、時間をおいて再度確認（本手順を実施）してください。解消しない場合は通信回線の設定が正しくされていることを確認してください。

- 1 スタートメニュー又はショートカットから**オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツール**を起動します。



- 2 オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツールが表示されます。

配信実績の確認をクリックします。



- 3 メモ帳が起動します。**医療機関コード、コンピューター名**が出力されていることをご確認ください。

[Information]
MedicalInstitutionCode=医療機関コード
TerminalID=コンピュータ名

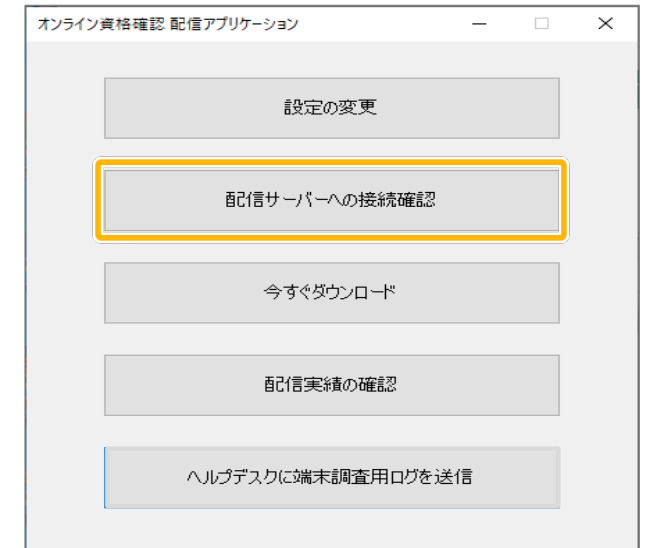
確認

こんなときは！

出力されていない場合の確認観点について

- ・操作4 認証局の電子証明書をインストールするが正しく行われていることを確認してください。
- ・操作8 「02 タスクの登録」が正しく行われているかを確認してください。

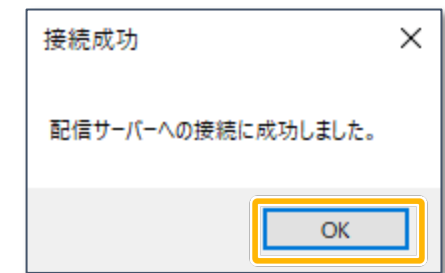
- 4 オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツールの**配信サーバーへの接続確認**をクリックします。



- 5 接続成功が表示されます。

OKをクリックします。

オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツールが表示されたら、右上の **×**（閉じる）をクリックし、管理ツールを終了します。



こんなときは！

配信アプリケーションの接続が失敗した場合について

資料「配信アプリケーションの確認について」をご参照ください。

こんなときは！

セットアップ時に使用した各種インストーラーについて

医療機関等ベンダーより入手し、連携アプリ搭載サーバーのデスクトップ等にコピーした各種インストーラー（連携アプリケーション、配信アプリケーションをインストールするためのファイル）は、セットアップ後、不要となるため、削除しても構いません。

配信アプリケーションのインストールが完了しました。

9

資格確認できるか確認する

連携アプリ搭載サーバーに接続した連携アプリケーションの連携について動作確認をします。本章では、ブラウザからの資格確認手順のみを説明しています。

01 クライアントアプリケーションのバージョン確認

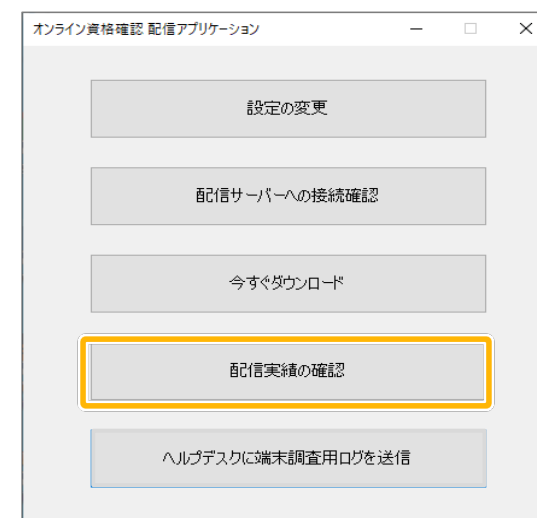
各種クライアントアプリケーション（連携アプリケーション、配信アプリケーション）のバージョンが最新バージョンであることを確認してください。最新バージョンでない場合、最新化を行ってください。最新のバージョン情報は、医療機関等向け総合ポータルサイトから確認可能です。

- 1 スタートメニュー又はショートカットから**オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツール**を起動します。



- 2 オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツールが表示されます。

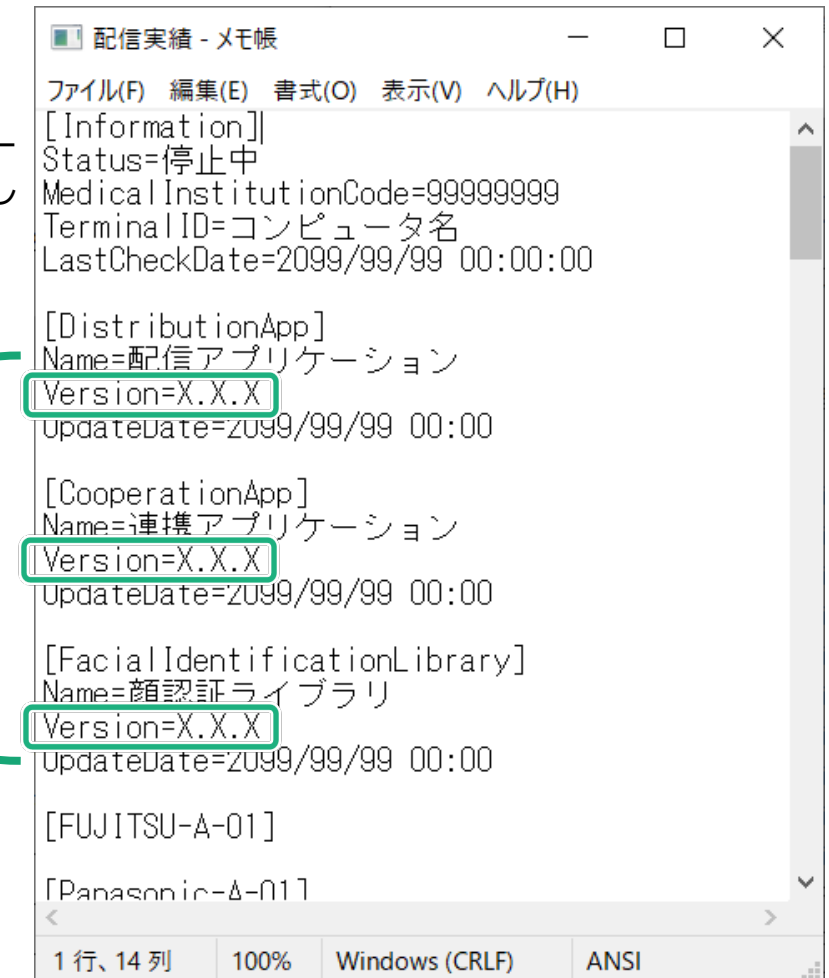
配信実績の確認をクリックします。



- 3 メモ帳が起動します。

各種クライアントアプリケーションのバージョンを確認します。

確認



こんなときは！

クライアントアプリケーションが正しくインストールされていない

クライアントアプリケーションのインストールに関するトラブル対処を別紙トラブルシューティングにまとめております。お困りの際は、別紙トラブルシューティングをご参照ください。

別紙 トラブルシューティング 補39

02 資格確認

① 資格確認書/被保険者証、処方箋、ブラウザで資格確認



資格確認書/被保険者証又は処方箋の情報を入力し、資格確認できるか確認します。

② 既存システムで資格確認



既存システムから資格確認できるか確認します。資格確認書/被保険者証、処方箋 + 連携アプリケーションを使用します。

医療機関等で導入する環境に併せて実施してください

9

資格確認できるか確認する（つづき）

オンライン資格確認等システムの本番環境に接続し、資格確認ができることを確認します。
※実在する資格が表示されますので、ご注意ください。

03 資格確認（既存システムから）

連携アプリケーションから資格確認書/被保険者証で資格確認を行う場合

連携アプリケーションから資格確認書/被保険者証で資格確認を行う場合、セットアップの続きを行ってください。詳細な設定については、**連携アプリケーション導入手順書**を参照してください。

ダウンロード

連携アプリケーションをダウンロードします。
(医療機関等ベンダー)

資産の複写

連携アプリケーションを連携アプリ搭載サーバーにセットアップします。

資格設定／
定期起動設定

連携アプリケーションの起動設定を行います。

動作確認

連携アプリケーションが動作するか確認します。

※本項で説明します

資格情報マネージャーの設定を行います

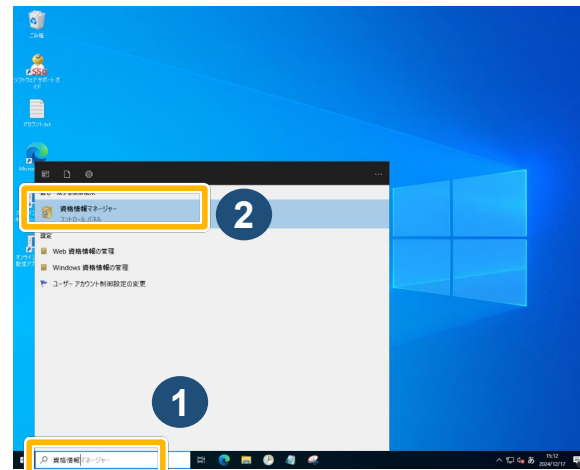
- 1 🔍 **検索**をクリックし、検索ボックスに**資格情報マネージャー**と入力します。

- 2 検索結果が表示されます。

資格情報マネージャーをクリックします。

- 3 資格情報マネージャーが表示されます。

Windows 資格情報をクリックします。



- 4 **汎用資格情報の追加** をクリックします。



- 5 資格情報を入力します。

入力後、**OK** をクリックします。



以下の表に示す4つの「設定内容」の、「インターネットまたはネットワークのアドレス」、「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、OKをクリックして各設定内容を登録してください。

設定内容	インターネットまたはネットワークのアドレス	ユーザー名	パスワード	必須
連携アプリ用アカウントのID、パスワード	OQS_LOGIN_KEY	連携アプリ用アカウントのID(R0またはR1から始まるアカウントID)を設定する	連携アプリ用アカウントのパスワードを設定する	○
医療機関コード	OQS_MEDICAL_INSTITUTION_CODE	OQS_Admin	数字10桁の医療機関コード	○
要求データファイルの復号、結果データファイルの暗号化パスワード	OQS_CRYPT_PASS	OQS_Admin	・半角英数字 ・12桁以内 ※記号など半角英数字以外の文字を含めしまうと連携アプリケーションによる資格確認の際にエラーとなります	×
共用フォルダのパスワード管理	OQS_NAS_LOGIN_KEY	3.2で設定した共用フォルダにアクセスするユーザー名を入力する	3.2で設定した共用フォルダにアクセスするユーザーのパスワードを入力する	×

9

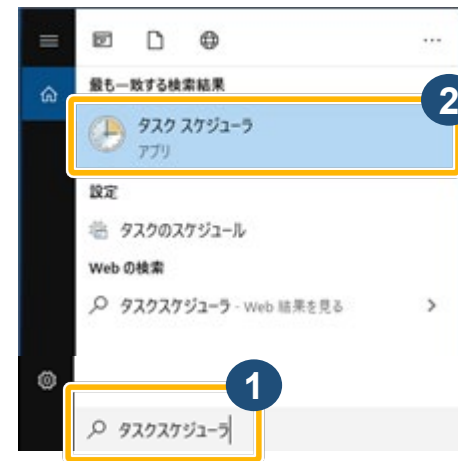
資格確認できるか確認する (つづき)

連携アプリケーションの定期起動の設定

連携アプリケーションを定期起動するように下記タスクを登録します。

- ・ 消し忘れファイル機能定期実行用タスク (OQS_exec_comappdelfile_periodic)
- ・ 消し忘れファイル機能PC起動時実行用タスク (OQS_exec_comappdelfile_running)
- ・ 連携アプリ定期実行用タスク (OQS_exec_comappstart)

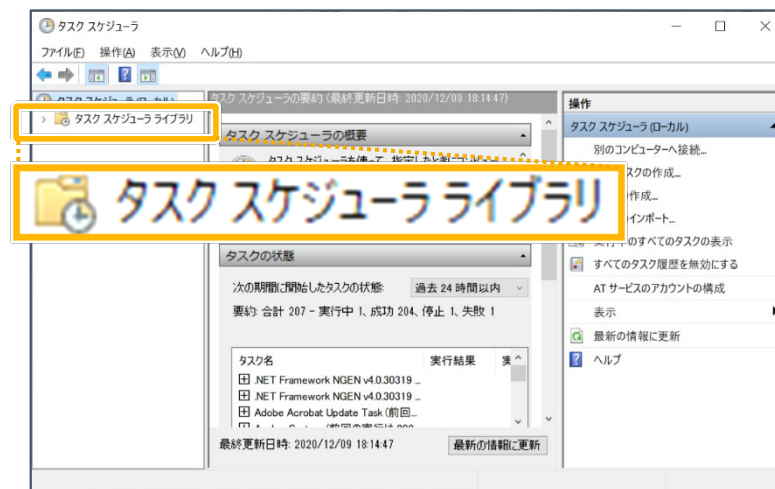
- 1 検索をクリックし、検索ボックスに **タスク スケジューラ** と入力します。



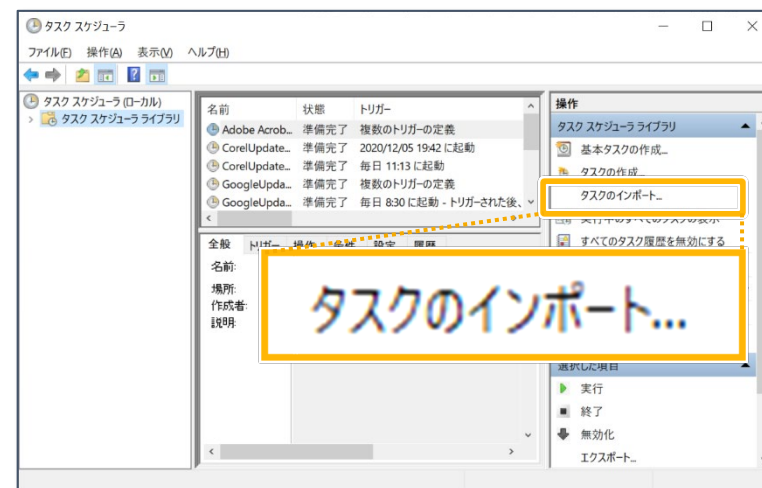
- 2 検索結果から、**タスク スケジューラ** をクリックします。

- 3 タスク スケジューラが表示されます。

左側の領域から、**タスク スケジューラ ライブラリ** をクリックします。



- 4 操作から、**タスクのインポート** をクリックします。

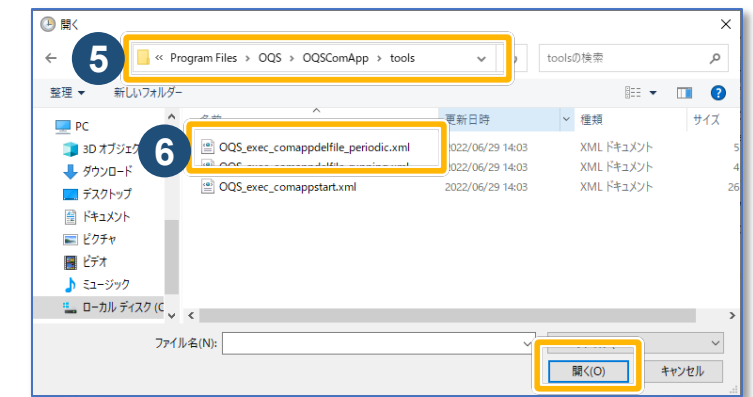


- 5 開く が表示されます。

ファイルの場所から、以下のフォルダに切り替えます。

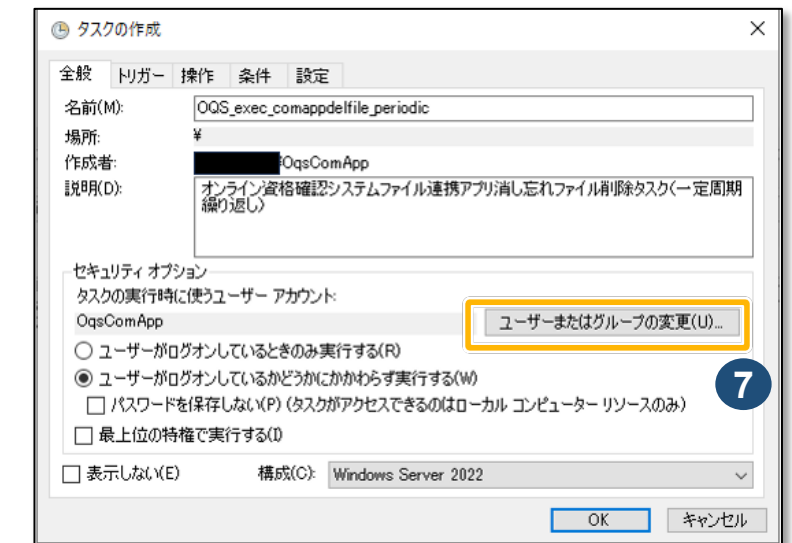
**C:\Program Files\OQS
OQSComApp\tools**

- 6 フォルダにある **OQS_exec_comappdelfile_periodic.xml** をクリックし、**開く** をクリックします。



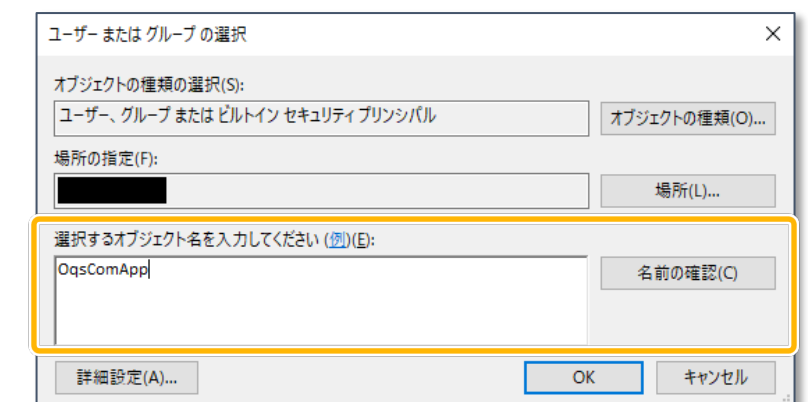
- 7 タスクの作成が表示されます。

ユーザーまたはグループの変更 をクリックします。



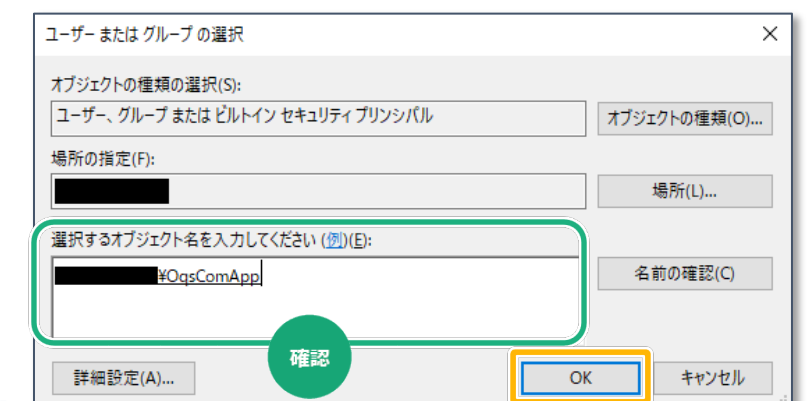
- 8 ユーザーまたはグループの選択が表示されます。

選択するオブジェクト名を入力してくださいに **OqsComApp** と入力し、**名前の確認** をクリックします。



- 9 **OqsComApp** に下線が表示されたことを確認します。

OK をクリックします。



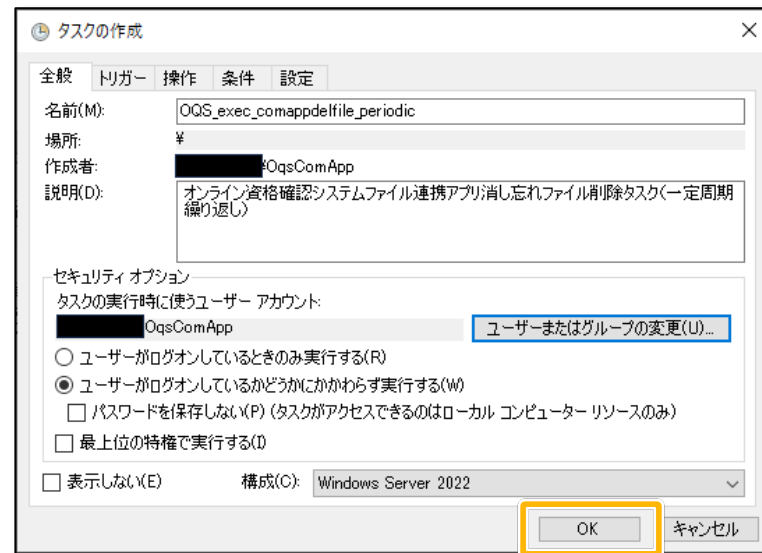
10 へ進む

9

資格確認できるか確認する（つづき）

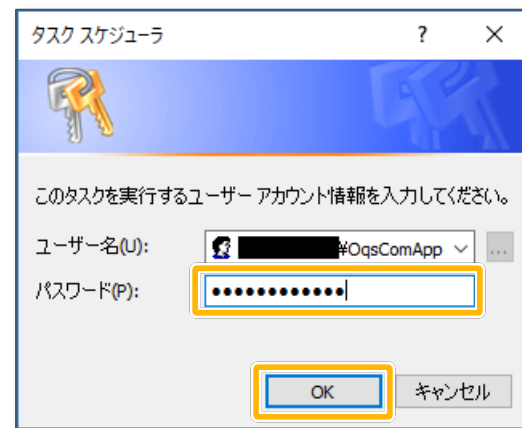
- 10 タスクの作成が表示されます。

OKをクリックします。



- 11 パスワード入力画面が表示されます。

OqsComAppのパスワードを入力し、OKをクリックします。



- 12 同様に、他の2つのタスクについても、登録します。

既存システム端末でオンライン資格確認等システムのセットアップを行った場合、既存システムからの資格確認ができることを確認します。

既存システム上での操作は、それぞれのシステムにより異なります。

既存システムのマニュアルを参照ください。



こんなときは！

連携アプリケーションが動作しない

連携アプリケーションが動作しない場合、別紙 トラブルシューティングをご参照ください。

▶▶ 別紙 トラブルシューティング 補16

結果データファイルが操作できない

結果データファイルが操作できない場合、別紙 トラブルシューティングをご参照ください。

▶▶ 別紙 トラブルシューティング 補9



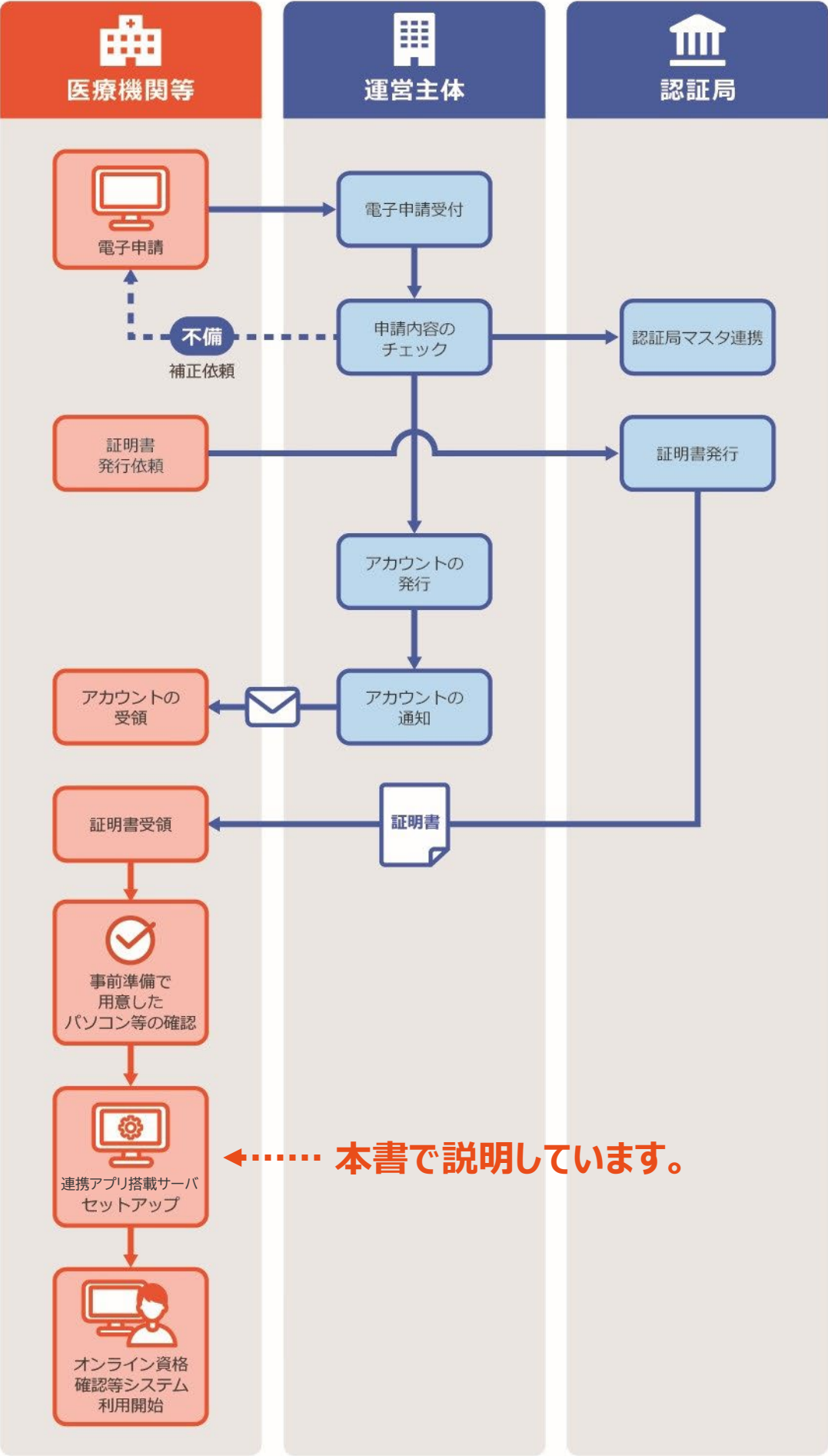
セットアップ後はドキュメントに記載している状態で動かしてください。以下のような削除、変更などを行った場合は、正しく動作しないことがあります。その場合は、手順書に従って再度セットアップしてください。

- ・セットアップで展開された資材のこちらが想定しない改変を実施(削除、アクセス権変更等)
- ・クライアント証明書を削除
- ・有効期限が切れた古いクライアント証明書を使用している
- ・複数の端末にて共通のクライアント証明書を使用している
- ・.NET Frameworkの無効化（アプリが動作できなくなります）
- ・TCPとUDPの53ポート（DNS）、80ポート（HTTP:証明書申請用）、123ポート（NTP）、443ポート（HTTPS）、8080ポート（プロキシ）を閉じた場合（httpsのダウンロード等がエラーになります）
- ・バッテリーのみでの使用（AC電源につないで使用してください）

資格確認が完了しました。

連携アプリ搭載サーバーのセットアップが完了しました。

電子申請からオンライン資格確認等システム利用開始までの流れ



連携アプリ搭載サーバーセットアップ後のチェックリスト

作業項目（実施した作業にチェックを入れてください）	変更した場合の内容やメモ等を記載
☒ ユーザーアカウント（OqsComApp）を作成した	
☒ Windowsの設定を変更した ☐ 配信アプリ準備 ☐ プロキシサーバーの設定 ☐ 時刻設定の変更 ☐ ディスプレイ設定を変更します	
☒ 連携アプリケーションをインストールした （インストールが必要な医療機関等のみ）	
☒ 認証局の電子証明書をインストールした	
☒ オンライン資格確認等システムにアカウントを作成した	
☒ 文字コード、医療扶助、医療情報の閲覧、電子処方箋管理サービス、電子カルテ情報共有サービス等の利用有無などの環境情報を設定した	
☒ 配信アプリケーションをインストールした	
☒ 資格確認できるか確認した	